

本庄市総合振興計画

行政評価(令和5年度)

実施計画(令和7年度)

目 次

基本的な考え方	1
健康福祉分野	4
教育文化分野	36
経済環境分野	58
都市基盤分野	79
市民生活分野	99
行財政経営分野	115

基本的な考え方

行政評価とは、「行政機関が主体となって、総合計画の体系に基づき、自らの行政活動を点検・評価し、その結果を改善につなげていくことであり、それらをシステムとして行政活動の中に組み込んで実施すること」と定義できます。

行政評価を用いた事業の優先順位に基づき、本庄市総合振興計画の施策を具体的な事業として実施するための「実施計画」を策定しました。

この計画は、毎年度の予算編成及び事業実施の指針となる役割を果たします。本庄市総合振興計画基本構想(計画期間:平成 30 年度～令和 9 年度)で定める本市の将来像「あなたと活かす みんなで育む 歴史と教育のまち 本庄 ～世のため、後のため～」を実現するため、まちづくりの基本理念に基づく政策と後期基本計画の施策・事業を計画的に推進し、成果指標の目標値の達成を図るものです。

計画期間である令和 7 年度から令和 8 年度までの 2 年間は、「支えあいとチャレンジ」を旗印に、本市の喫緊の課題に対応するため、基本計画に基づき、優先的・重点的に取り組む 4 つの重点施策を次のとおり取り組んでいくこととします。

《重点的・優先的に取り組む施策》

① 将来を担う人づくり

安心して出産・子育てできる取組や教育支援の充実を図り、次代を担う人材が育つまちを目指します！

② 地域共生社会の実現

地域共生社会の実現を目指すための体制を整備し、誰もが生きがいを持って暮らし続けることができる、笑顔あふれるまちを目指します！

③ 未来への投資

地域の活性化の可能性を広げるための取組や市民の暮らしをより便利にするための取組を強化し、魅力あふれるまちを目指します！

④ 持続可能なまちづくり

住み慣れた地域で誰もが安心して住み続けられるよう、持続可能なまちを目指します！

シートの見方

本市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策大綱	1みんなで支え合い健やかにいきいきと暮らせるまち	施策大項目	1子ども・子育て支援
------	--------------------------	-------	------------

NO	事務事業	実績
4	児童扶養手当事業	父母の離婚等により父又は母と生計を同じくしていない子どもを育てている者等に、児童扶養手当を支給しました。所得制限があり、支給額は所得により異なります。
5	ひとり親家庭等医療費支給事業	ひとり親家庭の親及び子ども等の医療費の一部を助成しました。対象は、子どもが満18歳になる日の年度末までで、子どもは「子ども医療費」が優先となります。
6	母子家庭等対策総合支援事業	母子家庭等の経済的自立を促進するため、教育訓練講座や資格取得のための職業訓練を受講する者に対し、受講料の一部や職業訓練促進給付金を支給し、能力開発や資格取得等の支援を行いました。

実績

令和5年度の事業概要を記述しています。令和6年度以降の新規事業は空欄となっています。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無 法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業でないため					子育て支援課
5	無 法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業でないため					子育て支援課
6	無 法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業でないため					子育て支援課

指標

令和5年度の実績を記述しています。指標がない場合は空欄、実績がない場合は—となっています。

<評価(CHECK)>

No	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	妥当性				評価	効率性			有効性			評価がそぐわない。
		評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。		行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価		
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

評価

令和5年度の実績に対し、「妥当性」「効率性」「有効性」の観点から評価しています。令和7年度以降の新規事業は空欄となっています。

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	法令に基づいて実施している事業であり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。
5	継続	法令に基づいて実施している事業であり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。
6	継続	法令に基づいて実施している事業であり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。

方向性

令和5年度の実績を踏まえた今後の方向性とその理由を記述しています。令和6年度以降の新規事業は空欄となっています。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5	R7拡充	令和7年10月からひとり親医療の現物給付に対応するため、様式変更等のシステム改修を行います。
6		

新規・拡充内容

令和7年度に新規・拡充する事業内容を記述しています。新規・拡充事業に該当しない場合は空欄となっています。

行政評価

実施計画

健康福祉分野

みんなで支え合い、
健やかにいきいきと暮らせるまち

施策大項目	1 子ども・子育て支援							
めざす姿	<p>○子育てと仕事を両立できる支援体制が整っています。</p> <p>○支援者の情報提供がスムーズに行われ、子どもの成長に合わせた子育ての悩みを相談できる体制が整っています。</p> <p>○地域全体で児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応に取り組んでいます。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	子育て支援センター 延べ利用組数(年間)	12,272組	14,138組	12,990組				18,000組
	保育所等における待 機児童数 <small>[保育所・認定こども園(保育認定部 分)・地域型保育施設における4月1日 時点の待機児童数]</small>	0人	0人	0人				0人

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

1子ども・子育て支援

NO	事務事業	実績
1	ファミリーサポートセンター事業	ファミリーサポートセンター事業に登録している援助会員により、こどもの送迎や預かりを要する依頼会員の家庭に対して適切にサービスを提供を行いました。
2	児童手当支給事業	0歳から15歳(中学校修了前)までの児童を養育している者に児童手当を支給しました。
3	子ども医療費支給事業	0歳から18歳年度末までのこどもの医療費(外来・入院)について、令和4年10月から現物給付の対象範囲を埼玉県内に拡大し、助成を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	援助活動利用件数	件	1,721	1,105	976	子育て支援課
2	無	法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業でないため					子育て支援課
3	無	法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業ではないため					子育て支援課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	適切にサービスを提供しており、今後も維持していきます。
2	継続	法令に基づいて実施している事業であり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。
3	継続	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

1子ども・子育て支援

NO	事務事業	実績
4	児童扶養手当事業	父母の離婚等により父又は母と生計を同じくしていない子どもを育てている者等に、児童扶養手当を支給しました。所得制限があり、支給額は所得により異なります。
5	ひとり親家庭等医療費支給事業	ひとり親家庭の親及び子ども等の医療費の一部を助成しました。対象は、子どもが満18歳になる日の年度末までで、子どもは「子ども医療費」が優先となります。
6	母子家庭等対策総合支援事業	母子家庭等の経済的自立を促進するため、教育訓練講座や資格取得のための職業訓練を受講する者に対し、受講料の一部や職業訓練促進給付金を支給し、能力開発や資格取得等の支援を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業でないため					子育て支援課
5	無	法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業でないため					子育て支援課
6	無	法令に基づいて実施しており、目標を設定して行う事業でないため					子育て支援課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	法令に基づいて実施している事業であり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。
5	継続	法令に基づいて実施している事業であり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。
6	継続	法令に基づいて実施している事業であり、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5	R7拡充	令和7年10月からひとり親医療の現物給付に対応するため、様式変更等のシステム改修を行います。
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

1子ども・子育て支援

NO	事務事業	実績
7	民間保育所等委託事業	市民が利用する民間保育所及び市外の公立保育所に対し、保育の委託を行いました。
8	放課後児童対策事業委託事務	保護者の就労等により放課後に家で過ごすことのできないこどものいる家庭を支援するため、民間学童保育所へ事業委託を行いました。
9	地域子育て支援拠点事業	子育て家庭を対象とした教室や講座等の開催、育児相談や身体測定の実施、子育て家庭の交流の場を設けることにより、身近に集い、子育ての不安や悩みを相談できる場を提供しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	有	保育所等における待機児童数	人	0	0	0	保育課
8	有	児童クラブ受入児童数(4/1時点登録人数)	人	974	1,048	992	子育て支援課
9	有	延利用者組数	組	14,138	12,990	11,791	子育て支援課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	民間保育所の認定こども園への移行で、対象施設数は減少しましたが、保育の需要は依然として高く、今後も継続が必要です。
8	継続	共働き家庭やひとり親家庭の増加によりニーズが高い事業であるため今後も継続して実施していきます。
9	継続	適切にサービスを提供しており、今後も維持していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		
9		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

1子ども・子育て支援

NO	事務事業	実績
10	児童虐待防止啓発事業	児童虐待防止を啓発するため、啓発品を購入し、イベントで配布しました。
11	支援対象児童見守り強化事業	要対協にて支援対象とされているこどもや、援助が必要な家庭に対し、食事や生活用品の提供を通じ、家庭訪問を行うことでこどもの見守り強化を図りました。
12	保育士宿舎借上支援事業補助	民間の教育・保育施設に対し、保育士用の宿舎を借り上げるための費用の一部を補助することで保育士の確保を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
10	有	児童虐待の新規取扱件数	件	54	282	150	こども家庭センター
11	有	児童虐待の新規取扱件数	件	54	282	150	こども家庭センター
12	無	国・県の制度に基づく補助であるため					保育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
10	継続	イベント来場者に対して、児童虐待防止についての啓発を行うことができました。今後も継続的に啓発を実施する必要があります。
11	継続	支援が必要な家庭・児童に対して、継続的な見守りを実施することができました。食料や生活用品の配布を通じ、見守りを実施することで、各家庭での実態を確認しながら支援ができています。今後も不断の事業継続が必要です。
12	継続	今後も需要があると見込まれることから、事業を継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
10		
11		
12		

NO	事務事業	実績
13	民間保育所等保育支援事業補助	民間の教育・保育施設に対し、低年齢児や障害児の受入れや1歳児保育を手厚く行うための保育士等加配を行いました。
14	障害児保育対策費補助	障害児(重度及び発達障害疑い)を受け入れている民間の教育・保育施設に対し、保育士の加配経費等を補助することで、障害児の受入れ体制の充実を図りました。
15	民間保育所等運営改善補助	民間の教育・保育施設の入所児童の処遇改善を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
13	無	県の制度に基づく補助であるため					保育課
14	無	施設の実績に対し補助するもので、予め計画できないため					保育課
15	無	施設が行う事業(活動)に対し、必要な経費を補助するものであるため					保育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
13	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
14	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
15	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
13	継続	今後も需要があると見込まれることから、事業を継続します。
14	継続	今後も需要があると見込まれることから、事業を継続します。
15	継続	今後も需要があると見込まれることから、事業を継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
13		
14		
15		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

1子ども・子育て支援

NO	事務事業	実績
16	延長保育事業	保育認定を受けた児童が、民間保育所や認定こども園等で、通常の利用日及び時間帯以外で保育を受けられる体制を維持しました。
17	病児保育事業	病児保育事業及び体調不良児対応型の病児保育事業を民間保育所等へ委託し、病後児対応型の病児保育事業を公立保育所で実施しました。
18	すくすくメール配信事業	子育て応援メールの配信により、出産・子育ての不安、産後うつ等の予防・解消を図るとともに、予防接種スケジュール管理による育児負担の軽減を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
16	有	実施園数	園	27	26	27	保育課
17	有	実施園数	園	7	7	7	保育課
18	有	年間登録者数(親)	人	269	319	354	子育て支援課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
16	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
17	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
18	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
16	継続	今後も需要があると見込まれることから、事業を継続します。
17	継続	今後も需要があると見込まれることから、事業を継続します。
18	継続	より見やすい物を検討し、登録者数増加のためデザインの変更や周知を図ります。

NO	年度	新規・拡充内容
16		
17		
18		

NO	事務事業	実績
19	子育て支援金支給事業	次世代を担うこどもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、子育て支援金を支給しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
19	有	支給人数	人	441	330	450	こども家庭センター

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
19	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
19	継続	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、今後も継続して実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
19		

健康福祉分野

みんなで支え合い、
健やかにいきいきと暮らせるまち

施策大項目	2 健康づくりの推進							
めざす姿	<p>○市民の健康管理に関する関心が高く、自ら健康づくりのための行動を実践している市民が増えています。</p> <p>○各ライフサイクルにおける心身の健康づくりや相談窓口等の支援体制が充実し、健康的な生活ができる環境が整っています。</p> <p>○発達障害等の子どもたちへの支援体制が充実し、地域社会の中で自立した生活を営める環境が整っています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	特定健診の受診率	33.6%	34.3%	36.5%				41.3%
	母子の健康状態把握率 [妊娠から生後4か月まで]	100%	100%	100%				100%

NO	事務事業	実績
1	後期高齢者健康診査事業	75歳以上の後期高齢者医療制度被保険者の生活習慣病の早期発見、重症化予防を図るため、健診を実施しました。
2	がん検診事業	胃がんリスク検診、前立腺がん、肺がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診、乳がん検診を実施しました。
3	その他の検診事業	肝炎検診、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診を実施しました。
4	乳幼児健康診査事業	乳幼児期からの健康づくりの推進のため、4ヶ月・1歳6ヶ月・3歳児健康診査、及び10ヶ月・2歳・5歳児健康相談を行いました。また、幼児の歯の健康づくりの充実を図るために、幼児個別健診(2歳6ヶ月から6歳)を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	受診率	%	23.0	25.1	28.0	健康推進課
2	有	各種がん検診の受診率	%	胃11.4前立腺11.1肺9.6 大腸10.9子宮14.9乳13.0	胃11.6前立腺11.3肺10.2 大腸11.3子宮14.9乳13.0	胃22.0前立腺33.0肺24.0大腸24.0子宮21.0乳21.0	健康推進課
3	有	検診受診率	%	肝炎5.7 歯周疾患4.5 骨14.1	肝炎5.4 歯周疾患3.8 骨11.8	肝炎8.2 歯周疾患9.0 骨18.6	健康推進課
4	有	各乳幼児健診・相談率の向上	%	93.5	95.5	97.0	こども家庭センター

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	生活習慣病の重症化予防のため、今後も継続します。
2	継続	健診の受診率はほぼ横ばいで推移しています。健康寿命の延伸を図るために電話・郵送等による受診勧奨を行います。
3	継続	健診の受診率はほぼ横ばいで推移しています。健康寿命の延伸を図るために電話・郵送等による受診勧奨を行います。
4	継続	随時、問診内容や実施方法、受付時間の工夫などを行いながら実施することができました。今後も、虐待予防やこどもの健全な発育・発達の支援に努めます。また、未受診児への電話連絡や訪問など全数把握についても継続して努めていきます。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4		

NO	事務事業	実績
5	訪問相談事業	妊娠期から出産後の子育て期における健康づくりの充実を図るため、妊婦訪問や乳児全戸訪問、電話や来所相談などを実施しました。
6	予防接種事業	予防接種法に定められた、子ども及び高齢者に対する予防接種を実施しました。
7	発達教育支援センター事業	発達障害や発達に不安のある子どもが自分らしく、いきいきと過ごせるように、本人・保護者・支援者に対して、その子ども抱えている課題を分析し、総合的にサポートを行いました。
8	自殺対策事業	市職員等対象のゲートキーパー養成講座、小学5・6年生を対象の「こころと命の大切さ」を理解するためのコミュニケーション講座を開催しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	有	妊娠期から出産までの継続した把握率	%	100	100	100	こども家庭センター
6	無	法令に基づいて実施する事務のため					健康推進課
7	有	18歳までの子どもの15%に対し、個別に支援を行った実人員の割合	%	92	96	95	こども家庭センター
8	有	国が示している指標(自殺死亡率:令和8年までに平成27年と比べて30%以上減少)に基づく ※27年:人口10万対23.9	人口10万対	12.9	18.1	12.9	健康推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性		評価	有効性			評価
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。		意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。		
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	子育て包括支援センター事業により、子育て支援課とも連携を図り、ハイリスク妊婦についても情報を共有し早期にかつ継続的に支援が行えています。今後も、妊娠期から子育て期における健康づくりを実施していきます。
6	継続	予防接種法に定められた接種を実施し、感染症の予防を図ります。
7	継続	発達障害や発達に不安のある子どもがいきいきと過ごせるように、今後も利用が見込まれる必要な事業です。
8	継続	自殺を予防するため、若年者のメンタルヘルスの強化に取り組む必要があります。

NO	年度	新規・拡充内容
5	R7拡充	妊娠を望む全ての人を対象に、婚姻届や母子手帳交付時等に妊娠・出産、健康に関する正しい知識の提供と、より豊かで幸せに過ごすための普及啓発を行います。
6		
7	R7拡充	子どもの発達評価と支援のための発達検査として田中ビネー知能検査V(ファイブ)を実施していますが、検査用具をその最新版である田中ビネー知能検査VI(シックス)に更新します。
8		

NO	事務事業	実績
9	健康づくりチャレンジポイント事業	健康管理・健康増進を図り、健康寿命の延伸や医療費の抑制につなげるため、獲得ポイントに応じて賞品交換を行うインセンティブ事業を実施しました。
10	後期高齢者健康づくりチャレンジポイント事業	健康管理・健康増進を図り、健康寿命の延伸や医療費の抑制につなげるため、獲得ポイントに応じて賞品交換を行うインセンティブ事業を実施しました。
11	マイトレ教室	マイトレ教室を実施しました。(教室参加者と非参加者の医療費を比較すると、1か月平均で約1万3千円の医療費抑制効果がありました。)
12	データヘルス事業	国保データヘルス計画に基づく受診勧奨を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
9	有	チャレンジポイント獲得目標値に到達した参加者数(国保分)	人	664	693	1,000	保険課
10	有	チャレンジポイント獲得目標値に到達した参加者数(後期高齢者分)	人	457	554	750	保険課
11	有	事業参加者数	人	530	593	970	健康推進課
12	無	長期的な視野で被保険者の健康保持増進を図り、医療費の抑制につなげるものであり、指標の設定が難しいため					保険課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
9	継続	国が奨励する健康マイレージ事業であり、被保険者の健康づくりをサポートし、医療費の抑制につなげるため、今後も継続していきます。
10	継続	被保険者の健康づくりをサポートし、医療費の抑制につなげるため、今後も継続していきます。
11	継続	医療費抑制のため必要な事業です。
12	継続	重症化する前に受診を促すことで、医療費の抑制につなげるため、今後も継続していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
9		
10		
11		
12	R7拡充	「本庄市国民健康保険第2期データヘルス計画」が令和7年度で満了するため、次期計画を策定します。

NO	事務事業	実績
13	人間ドック助成金	被保険者が人間ドックを受検した場合に、2万円(併診ドックは3万円)を上限に費用を助成しました。
14	後期高齢者人間ドック助成事業	被保険者が人間ドックを受検した場合に、2万円(併診ドックは3万円)を上限に費用を助成しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
13	無	長期的な視野で被保険者の健康保持増進を図り、医療費の抑制につなげるものであり、指標の設定が難しいため					保険課
14	無	長期的な視野で被保険者の健康保持増進を図り、医療費の抑制につなげるものであり、指標の設定が難しいため					保険課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
13	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
14	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
13	継続	長期的な視野で被保険者の健康保持増進を図り、医療費の抑制につなげるため、今後も継続していきます。
14	継続	長期的な視野で被保険者の健康保持増進を図り、医療費の抑制につなげるため、今後も継続していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
13		
14		

健康福祉分野

みんなで支え合い、
健やかにいきいきと暮らせるまち

施策大項目	3 医療体制の充実							
めざす姿	<p>○休日や夜間の初期救急医療体制や相談機能が充実しています。 ○高度な医療をはじめ地域医療体制が充実しています。 ○市民がかかりつけ医・かかりつけ歯科医を持ち、自ら健康管理を行っています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	病院群輪番制病院受診者に占める軽症患者率 <small>[夜間や休日の輪番病院を受診する人のうち軽症患者の割合]</small>	77.3%	80.2%	79.5%				75.0%

NO	事務事業	実績
1	休日急患診療業務事業(本庄市児玉郡医師会)	本庄市保健センター内に設置されている休日急患診療所の運營業務に対し、1市3町で経費の一部を補助しました。
2	在宅当番医制事業(本庄市児玉郡医師会)	本庄市児玉郡医師会員の当番制(主に外科)による休日、祝日の患者の受け入れ事業に対し、1市3町で経費の一部を補助しました。
3	病院群輪番制病院運営事業(本庄市児玉郡医師会)	本庄総合病院、岡病院、青木病院、児玉中央病院、鈴木外科病院、本庄駅前病院の輪番(内科、外科)による二次救急患者の受け入れ事業に対し、1市3町で経費の一部を補助しました。
4	小児二次救急診療業務事業(北部保健医療圏)	深谷赤十字病院、熊谷総合病院、行田総合病院の輪番による小児二次救急患者の受け入れ事業に対し、経費の一部を補助(国、県、8市町が1/3ずつ負担)しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無 初期救急は最小単位の北部医療圏に属する自治体で整備すべき事業であるが、医療自体をまかなう事は難しく、医療体制確保への補助事業であるため					健康推進課
2	無 在宅当番医制事業は、医療体制確保への補助事業であるため					健康推進課
3	無 大人を主とした二次救急は最小単位の北部医療圏に属する自治体で整備すべき事業であるが、医療自体をまかなう事は難しく、医療体制確保への補助事業であるため					健康推進課
4	無 小児二次救急は、県及び北部医療圏に属する自治体で整備すべき事業であるが、医療自体をまかなう事は難しく、医療体制確保への補助事業であるため					健康推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	休日、夜間の医療体制を確保するために必要な事業です。
2	継続	休日の医療体制を確保するために必要な事業です。
3	継続	二次救急の医療体制を確保するために必要な事業です。
4	継続	小児二次救急の医療体制を確保するために必要な事業です。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4		

NO	事務事業	実績
5	小児二次救急医師派遣事業(北部保健医療圏)	小児二次救急診療業務事業の実施に際し、小児科医の派遣を受けている病院に対し、経費の一部を補助(病院、県、8市町が1/3ずつ負担)しました。
6	県外小児二次救急運営事業(公立藤岡総合病院)	1市3町と藤岡総合病院との小児救急医療の協定に基づき、輪番日の経費の一部を補助(1市3町で経費の2/3、内1/2は県補助金)しました。
7	県外小児二次救急運営事業(伊勢崎市民病院)	1市3町と伊勢崎市民病院との小児救急医療の協定に基づき、輪番日の経費の一部を補助(1市3町で経費の2/3、内1/2は県補助金)しました。
8	ほんじょう健康相談ダイヤル24	市民の健康に対する不安の解消、救急医療の適正利用を図るため、24時間体制の電話窓口を設置しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	無 小児二次救急は、県及び北部医療圏に属する自治体で整備すべき事業であるが、医療自体をまかなう事は難しく、医療体制確保への補助事業であるため					健康推進課
6	無 小児二次救急は、県及び北部医療圏に属する自治体で整備すべき事業であるが、医療自体をまかなう事は難しく、医療体制確保への補助事業であるため					健康推進課
7	無 小児二次救急は、県及び北部医療圏に属する自治体で整備すべき事業であるが、医療自体をまかなう事は難しく、医療体制確保への補助事業であるため					健康推進課
8	無 事務的経費のみで構成される事務のため					健康推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	小児二次救急の医療体制を確保するために必要な事業です。
6	継続	小児二次救急の医療体制を確保するために必要な事業です。
7	継続	小児二次救急の医療体制を確保するために必要な事業です。
8	継続	市民の健康に対する不安の解消、救急医療の適正利用を図るため必要な事業です。

NO	年度	新規・拡充内容
5		
6		
7		
8		

健康福祉分野

みんなで支え合い、
健やかにいきいきと暮らせるまち

施策大項目	4 地域福祉の推進							
めざす姿	<p>○誰もが住み慣れた地域社会の中で、助け合い、支え合いながら自分らしくいきいきと暮らしています。</p> <p>○行政と関係機関・団体、地域住民等が共に協働しながら、地域の諸問題を解決する体制が整っています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	市民後見人候補者の登録者数	8人	14人	13人				30人

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

4地域福祉の推進

NO	事務事業	実績
1	成年後見サポートセンター業務委託事業	成年後見制度利用促進のための中核機関として成年後見サポートセンターを設置し、本庄市社会福祉協議会に運営を委託しました。制度に関する広報・啓発、相談及び利用支援、関係機関等との連絡・調整、市民後見人育成のための支援を行いました。
2	社会福祉協議会運営補助事業	市と連携して様々な取組を行っている社会福祉協議会に対して自主財源で賄えない職員の人件費を補助し、運営の適正化の確保と地域福祉の充実を目指した活動の推進を図りました。
3	民生委員活動事業	民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員であり、無報酬でボランティアとして活動しています。地域住民の身近な相談相手である同委員の活動を支援するため交付金を交付し、地域福祉の推進及び社会福祉の向上を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	市民後見人候補者名簿登載者数	人	14	13	30	地域福祉課
2	有	社会福祉協議会人員数	人	17	17	24	地域福祉課
3	有	民生委員・児童委員の相談・支援件数	件	3,194	2,926	3,300	地域福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、制度の利用促進、市民後見人の育成等を継続して行います。
2	継続	地域福祉推進の中核としての役割を担っている社会福祉協議会の運営の適正化の確保と協働による福祉事業の推進を図ります。
3	継続	市民との協働のまちづくりや市民生活の質の向上を目指すために民生委員・児童委員の活動は必要不可欠です。民生委員・児童委員が地域で十分な活動を行うためには、適切な支援を行う必要があることから、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

健康福祉分野

みんなで支え合い、
健やかにいきいきと暮らせるまち

施策大項目	5 高齢者福祉の充実							
めざす姿	<p>○多くの高齢者が住み慣れた地域で元気に安心して暮らしています。 ○介護予防の取組が充実し、高齢者の健康寿命が延伸しています。 ○高齢者が積極的に社会参加をし、自らの能力や経験を発揮しています。 ○高齢者が地域ぐるみで支えられ、その権利が擁護されています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	シルバー人材センターの会員数	481人	469人	453人				530人
	はにぼん筋カトレーニング教室(介護予防事業)参加者数 <small>[65歳以上の高齢者を対象に開催するはにぼん筋カトレーニング教室への参加者数]</small>	2,037人	2,260人	2,123人				2,500人

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

5高齢者福祉の充実

NO	事務事業	実績
1	一般介護予防事業	高齢者が地域で健やかに生きがいや役割を持って生活できるよう、介護予防の教室や研修会等を開催したり、住民主体の活動のリーダーの育成、通いの場が維持・拡大していけるよう、感染症対策を講じて介護予防を推進しました。
2	地域包括支援センターの運営事業	高齢者の多様な相談を総合的に受け止め、必要な支援に繋ぐとともに、地域の将来的な健康課題を見据え、予防的な対応を行うため、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士の3職種がチームで対応しました。
3	権利擁護事業	実態把握を行い、高齢者虐待の防止及び養護者に対する支援を行いました。また、ネットワーク会議等を開催し、関係機関と連携し高齢者の権利を守りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	筋トレ(はにトレ)教室参加実人員	人	2,260	2,123	2,500	高齢者福祉課
2	有	地域包括支援センターで対応した総合相談件数	件	1,877	2,010	2,200	高齢者福祉課
3	有	虐待通報による相談	件	41	34	50	生活支援課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	高齢者が健やかに生きがいや役割を持って生活できるよう実施しました。活動の中心となるボランティアや関係者との話し合いを重ねながら活動を継続しています。今後も活動継続支援と参加者の体力測定や状態把握等を行いながら各事業の評価・検証を行い、介護予防を推進します。
2	継続	ネットワーク会議の開催や関係機関との連携、相談支援を行いました。今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、地域包括ケアシステムの更なる深化を進めていきます。
3	継続	高齢者人口の増加等から、高齢者虐待防止のための支援は増加していく見込みです。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

NO	事務事業	実績
4	高齢者総合相談支援事業	地域の高齢者及びその家族等からの相談に応じ、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく、安心した生活を継続できるように適切な支援や情報提供を行いました。また、困難事例対応について、地域包括支援センターに支援を行いました。
5	シルバー人材センター運営事業	シルバー人材センターに補助金を交付することで、高齢者の就業と社会参加を促進し、生活の安定と生きがいを増進しました。
6	老人クラブ助成事業	単位老人クラブ、老人クラブ連合会に対して補助金を交付し、高齢者の健康増進と生きがいづくりを推進しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	総合相談・権利擁護相談件数(地域包括支援センターからの相談含む)	件	2,718	3,459	5,000	生活支援課
5	有	シルバー人材センターの会員数	人	469	453	530	高齢者福祉課
6	有	単位老人クラブの会員数	人	2,445	2,273	2,300	高齢者福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	今後も地域包括支援センターを支援しつつ、共に相談・支援を行っていきます。
5	継続	会員数は安定しており、高齢者の就業については今後も需要増加が見込まれることから、継続します。
6	継続	高齢者人口は増加していますが、老人クラブの会員数は全国的に減少傾向にあります。高齢者の地域社会とのつながりを増進するため、活動内容を検討しながら、勧誘を進めていきます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

5高齢者福祉の充実

NO	事務事業	実績
7	在宅医療・介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療と介護等の関係者の連携を推進しました。
8	認知症初期集中支援推進事業	できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために、認知症初期集中支援チームを設置し、認知症やその家族に早期に関わり支援する早期診断・早期対応支援体制を推進しました。
9	認知症地域支援・ケア向上事業	医療や介護及び生活支援を行う関係者等とのネットワークを形成し、効果的な支援が行われる体制の構築と、地域の実情に応じた認知症ケアの向上を図る取組を推進しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	無	医療と介護の連携を推進する事業であるため					高齢者福祉課
8	有	認知症初期集中支援チームの設置数	箇所	1	1	1	高齢者福祉課
9	有	認知症カフェの開設数	箇所	認知症カフェ 9	認知症カフェ 10	認知症カフェ 10	高齢者福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価 がそ ぐわ ない 。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	相談支援の実施、入退院調整ルールの手引き改訂や医療と介護の情報共有シートの作成、医療・介護職の研修会開催などにより、連携体制構築を推進しました。今後も一体的なサービス提供に向けて推進します。
8	継続	令和5年度は初期集中支援チームの活用実績がありませんでしたが、効果的な事業実施となるよう周知等工夫し、支援チームや医療機関等と連携して早期支援体制の構築を推進するため事業継続します。
9	継続	認知症カフェの開設や、運営支援、地域の関係者や支援者と協働したイベント開催等により、ネットワーク形成と連携を強化しました。今後も認知症ケア向上を推進するため事業継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		
9		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

5高齢者福祉の充実

NO	事務事業	実績
10	認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業	認知症の人とその家族のニーズと支援の担い手をつなぐ仕組みの整備により、認知症サポーターの活動を促進するとともに、地域の見守り・支援体制を推進しました。
11	社会福祉協議会特別活動補助事業	社会福祉協議会で実施している高齢者やその家族向けのサービス事業に対し、事業費の一部を補助しました。
12	要介護高齢者手当支給事業	在宅の要介護4・5の高齢者を介護する家族に月額8千円を支給。精神的、経済的負担を軽減しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
10	無 地域づくりを推進するための事業であるため					高齢者福祉課
11	有 特別活動補助事業の利用者数	人	地域会食事業917人・高齢者世帯等安否確認976世帯・友愛通信699世帯・いきいきサロン支援1,975人、地域見守り体制整備事業20自治体	地域会食事業938人・高齢者世帯等安否確認938世帯・友愛通信716世帯・いきいきサロン支援1,949人、地域見守り体制整備事業16自治体	地域会食事業940人・高齢者世帯等安否確認1,030世帯・友愛通信720世帯・いきいきサロン支援2,030人、地域見守り体制整備事業30自治体	高齢者福祉課
12	無 利用者数を増やすことが目標ではなく、必要な方に利用して頂くための周知・啓発が必要であるため					高齢者福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
10	継続	認知症の人や家族のニーズと支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジを設置しました。チームオレンジの活動を通して安心して暮らせる地域づくりの啓発と推進に努めます。
11	継続	社会福祉協議会の活動は、公益性の高いものであるため、今後も補助を継続します。
12	継続	在宅で介護を行う家族の精神的、経済的負担を軽減するため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
10		
11		
12		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

5高齢者福祉の充実

NO	事務事業	実績
13	介護者元気回復事業	在宅で介護を行う家族を対象とした事業を行い、心身のリフレッシュを図りました。
14	生活支援体制整備事業	単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症高齢者が増加する中、様々な事業主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化へ向けた働きかけを行いました。
15	介護予防・生活支援サービス事業	要支援者及び事業対象者の多様な生活支援ニーズに対応するための支援事業を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
13	有	参加人数(延べ人数)	人	37	17	50	高齢者福祉課
14	有	生活支援コーディネーターの配置と協議体開催回数	人・回	コーディネーター5・協議体開催数34	コーディネーター5・協議体開催数32	コーディネーター5・協議体開催数30	高齢者福祉課
15	無	法令に基づいて実施するため					高齢者福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
13	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
14	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
15	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
13	継続	今後も参加者が見込まれること、ケアラー支援の重要性も増していることから、事業を継続します。
14	継続	住民主体の助け合い活動の周知、民間企業や社会福祉法人等と連携した買い物支援や移動支援を行いました。買い物や移動に関する支援への要望は多く、社会福祉法人の公益的業務への働きかけ、住民や民間団体等による助け合い活動の推進・連携・支援を行い、活動の拡大に努めます。
15	継続	要支援者等が安定した日常生活を送れるよう支援しました。地域ニーズにあった支援事業を創出するため、事業を行う主体の確保に取り組みます。

NO	年度	新規・拡充内容
13		
14		
15	R7拡充	介護予防・日常生活支援総合事業の在り方を見直すため、埼玉県の実業支援を受けて短期集中サポートサービスを活用したモデル事業を実施します。

健康福祉分野

みんなで支え合い、
健やかにいきいきと暮らせるまち

施策大項目	6 障害者福祉の推進							
めざす姿	○障害のある人が、地域において等しく権利を享有して、日常生活や社会生活の中で個人として尊重された暮らしをしています。							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	障害者雇用率 [ハローワーク本庄管内の雇用者のうち障害のある人を雇用している率 ※R5より埼玉県内障害者雇用率を掲載]	2.29%	2.32%	2.42%				

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

6障害者福祉の推進

NO	事務事業	実績
1	障害者福祉団体育成事業	埼玉県障害者スポーツ協会への負担金及び本庄市身体障害者福祉会への補助金を交付しました。
2	障害者福祉交流啓発事業	ふれ愛祭実行委員会に対して交付金を支出し、障害者の日頃の活動成果発表や障害者と健常者の交流機会としてふれ愛祭を開催しています。令和5年度は社会福祉協議会による「障がい者作品展」、スポーツ推進課所管の「ニュースポーツフェスタ」を同時開催しました。
3	手話通訳者派遣事業	聴覚障害者の意思疎通支援事業として手話通訳者の派遣を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無 福祉団体の財政基盤の安定化に寄与するものであり、指標の設定がそぐわないため					障害福祉課
2	有 交流事業の実施回数	回	1	1	1	障害福祉課
3	無 法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	障害者の社会参加を促進するための事業であり、今後も継続する必要があります。
2	継続	障害者が活動成果を発表したり、健常者との交流を図るため、今後も継続する必要があります。障害者のための交流の機会としてどのように開催していくか、実行委員会において協議を進めていきます。
3	継続	法令により実施しています。聴覚障害者の意思疎通支援に欠かせない事業のため、今後も継続する必要があります。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

6障害者福祉の推進

NO	事務事業	実績
4	自立支援医療費(更生・育成・療養介護医療)	障害の程度を軽くしたり取り除くための医療を指定医療機関で受けた場合に、医療費の自己負担額が1割になるよう支援しました。
5	補装具費	身体障害者の失われた部位や障害のある部分を補って、日常生活を容易にするために、補装具の購入又は修理に関わる費用を支給しました。
6	障害福祉サービス費負担金	障害者に対し通所や入所等の介護給付や訓練等給付、計画相談支援等の給付を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課
5	無	法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課
6	無	法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	法令により実施しています。今後も利用は見込まれ、継続する必要があります。
5	継続	法令により実施しています。令和5年決定件数は151件であり、通年利用の増減は多少見られます。今後も利用は見込まれ、継続する必要があります。
6	継続	法令により実施しています。障害者福祉の推進のため必要なサービスであり、今後も継続する必要があります。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

6障害者福祉の推進

NO	事務事業	実績
7	障害児通所給付費負担金	児童発達支援や放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等の障害児支援の給付を行いました。
8	障害者地域活動支援センター運営事業	障害のある人の地域生活を支援するために、創作的活動や生産活動の機会を提供する地域活動支援センターの運営を3事業所へ委託しました。
9	障害者相談支援事業	障害者(児)及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供や、地域生活等に必要の援助を行うため、身体・知的・精神の相談事業所3事業所へ委託しました。また、令和6年1月、相談の中核として基幹相談支援センターを設置しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	無	法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課
8	無	法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課
9	無	法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	法令により実施しています。こどもの成長発達の促し、集団生活への適応力を向上するため必要なサービスであり、今後も継続する必要があります。
8	継続	法令により実施しています。障害者の居場所を確保するために、今後も継続する必要があります。
9	継続	法令により実施しています。専門的な相談支援を実施するために、今後も継続する必要があります。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		
9		

NO	事務事業	実績
10	日常生活用具給付等事業	ストーマや紙おむつ、屋内信号装置などの障害者の日常生活を支援する用具の給付を行いました。
11	重度心身障害者医療費支給事業	重度心身障害者に対し、保険適用医療費の自己負担分を支給しました。
12	障害者就労支援センター運営委託事業	児玉郡市障害者就労支援センターの運営業務を児玉郡3町と共同で委託しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
10	無	法令に基づいて実施する事務のため					障害福祉課
11	無	障害の実態に基づいて利用されるものであるため					障害福祉課
12	有	埼玉県障害者雇用率	%	2.32	2.42	2.70	障害福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
10	継続	法令により実施しています。利用者は多少の増減がありますが、今後も継続する必要があります。
11	継続	重度心身障害者の医療費負担軽減のため、今後も継続する必要があります。
12	継続	障害者の自立のため必要な事業であり、今後も継続する必要があります。

NO	年度	新規・拡充内容
10		
11		
12		

健康福祉分野

みんなで支え合い、
健やかにいきいきと暮らせるまち

施策大項目	7 生活困窮者等の支援							
めざす姿	<p>○生活困窮者等の自立に向け、行政と関係機関、地域住民等が協働して支え合っています。</p> <p>○市民が抱えている福祉に関する様々な困りごとについて、総合相談窓口で適切な相談・支援を実施しています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	生活保護自立推進率 [就労年齢層(概ね15才～65才)のいる保護世帯のうち、就労等により自立(保護廃止)した世帯数の率]	2.6%	1.7%	3.1%				4.6%
	生活困窮者自立推進率 [就労支援を実施している生活困窮者のうち、新たに就労した人の率]	65.3%	72.7%	85.2%				70.0%

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

1みんなで支え合い健やかに
いきいきと暮らせるまち

施策
大項目

7生活困窮者等の支援

NO	事務事業	実績
1	生活保護費支給事務費	生活保護費の適正な支給事業を継続するため、クラウド型生活保護システムを用いて、制度全般の事務を執行し、合わせて制度に係わるその他の事務を履行しました。
2	就労準備支援事業	直ちに一般就労が困難な生活困窮者又は被保護者を対象に、職場体験等を通じて就労意欲の喚起や、就労に必要な基礎能力の習得を支援しました。
3	家計改善支援事業	家計管理に問題のある生活困窮者又は被保護者を対象に、適切な収支感覚の醸成から課題の把握、収支計画の作成まで、家計管理能力の習得を支援しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無	内部管理事務のため					生活支援課
2	有	①利用者数 ②一般就労開始者数	人	① 7 ② 1	① 12 ② 2	① 15 ② 5	生活支援課
3	有	①利用者数 ②利用者の生活維持率	人 %	① 8 ② 10 0	① 7 ② 100	① 12 ② 10 0	生活支援課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	生活保護費支給事業にかかる事業のため、継続が必要です。
2	継続	長期間就労していない方又はひきこもりの状態にある方を就労につなぐ事業です。支援者の増加等により、支援回数の増加を検討していきます。
3	継続	相談者のほとんどが金銭的問題を抱えており、生活再建に不可欠な事業であるため、支援回数の増加を検討します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3	R7拡充	家計管理に問題がある生活保護受給者や生活困窮者を対象に、家計管理の必要性の理解や家計簿の作成、支出内容の確認、支出計画の作成等、ファイナンシャルプランナーが支援する日数を拡充します。

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策大綱	1みんなで支え合い健やかにいきいきと暮らせるまち	施策大項目	7生活困窮者等の支援
------	--------------------------	-------	------------

NO	事務事業	実績
4	子どもの学習・生活支援事業	生活困窮又は被保護世帯の小学生、中学・高校生を対象に、学習教室での個別学習指導や家庭訪問による生活相談等を行い、こどもの進学や就職に繋げ貧困の連鎖予防に努めました。また、小学生教室では食育・体験活動も行い、将来の自立に向けた自己肯定感を育むことができるよう支援を行いました。
5	自立相談支援事業	生活困窮等の相談をワンストップで受け付け、関係機関と連携し継続的な自立支援を行いました。市民や関係機関等の生活困窮者支援意識を醸成し、生活困窮者を支える地域づくりに努めました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	①支援した中学生の進学率 ②支援した高校生の進路決定率(就職及び進学)	%	① 100 ② 75	①100 ②100	① 100 ② 100	生活支援課
5	有	生活困窮者自立推進率	%	72.7	63.2	70.0	生活支援課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	学習支援以外にも生活相談等も行い、進学や就職に繋がっています。委託契約期間満了に伴い、事業の見直しを行います。
5	継続	就労支援員により支援者に寄り添った就労支援を行っていきます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		

教育文化分野

未来を拓く人を育み、
歴史と文化の薫るまち

施策大項目	1 確かな学力と自立する力の育成							
めざす姿	<p>○自ら学び主体的に判断・行動し、よりよく問題解決できる、「確かな学力」が身についています。</p> <p>○学校・家庭・地域が一体となって子どもの育成に取り組んでいます。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率を100とした時の本市の平均正答率(小学校6年国語、小学校6年算数)	国語 95.8% 算数 95.4%	国語 99.1% 算数 94.9%	国語 98.2% 算数 94.4%				国語 100.0% 算数 100.0%
	全国学力・学習状況調査の全国平均正答率を100とした時の本市の平均正答率(中学校3年国語、中学校3年数学)	国語 91.3% 数学 87.4%	国語 98.6% 数学 91.4%	国語 96.0% 数学 92.2%				国語 100.0% 数学 100.0%

NO	事務事業	実績
1	英語教育推進事業	市立小中学校にALTを配置し、外国語教育の充実を図りました。
2	放課後等学習支援活動	中学校第1学年から第3学年を対象に放課後や長期休業期間中に補充学習等を実施しました。
3	学習補助教員配置事業	全学年複数学級の小学校に学習補助教員を配置(大規模校には2名の配置)し、教員の補助や児童の学習支援を行いました。
4	ティーチング・アドバイザー事業	豊富な経験と指導力がある元管理職4名を指導者に、授業改善等について、指導を定期的に行い、児童生徒の学力向上を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	ALT勤務日数(延べ)	日	1,845	1,948	1,845	学校教育課
2	有	放課後等学習支援活動実施回数	回	111	104	120	学校教育課
3	有	全国学力・学習状況調査における小6の国語・算数の平均正答率	%	国65 算60	国66 算59	県平均を上回る	学校教育課
4	有	指導者の学校訪問回数	回	208	196	303	学校教育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	英語教育の推進のため、今後も継続します。
2	継続	学力向上が喫緊の課題であり、児童生徒一人一人にきめ細かな指導・支援をするため、今後も継続します。
3	継続	学力向上が喫緊の課題であり、児童生徒一人一人にきめ細かな指導・支援をするため、今後も継続します。
4	継続	新学習指導要領の全面实施に伴い、教員の授業力向上のため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4		

NO	事務事業	実績
5	学校運営協議会(CS)の設置	市立小中学校全校に学校運営協議会を設置し、学校運営に地域の声を積極的に活かすとともに、地域と一体となって特色ある学校づくりに努めました。
6	本庄市社会体験チャレンジ事業	キャリア教育の一環として、中学生が市内の事業所に行き、職場体験を行い、3中学校で実施しました。
7	教職員指導力向上事業	嶋野道弘氏を指導者として招聘し、学力向上に係る講演会や学校、教育委員会への指導を行いました。
8	特別支援教育推進事業	配慮を要する児童生徒を個別に、きめ細やかな対応をすることで、教育効果を高めることができました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	有	学校運営協議会の設置校	校	16	16	16	学校教育課
6	有	本庄市社会体験チャレンジ参加率	%	未実施	75	100	学校教育課
7	有	全国学力・学習状況調査における小6の国語・算数と、中3の国語・数学の平均正答率(4つ)	%	小国65算60中 国68数47	小国66算59中国 67数47	県平均を上回る	学校教育課
8	有	特別支援学級の入級人数	人	225	241	270	学校教育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	市内16校に設置できましたが、地域とともにある学校づくりや、社会総掛かりでの教育の実現のため、今後も継続します。
6	継続	キャリア教育推進のため、今後も継続します。
7	継続	喫緊の課題である児童生徒の学力向上のため、教職員の授業改善を継続して推進します。
8	継続	補助教員の配置されていない学校にも今後増員することが望まれます。

NO	年度	新規・拡充内容
5		
6		
7		
8		

教育文化分野

未来を拓く人を育み、
歴史と文化の薫るまち

施策大項目	2 豊かな心と健やかな体の育成							
めざす姿	<p>○人権意識が育まれ、明るくいいきと学校生活を送っています。</p> <p>○体力の向上が図られ、健やかな体が育まれています。</p> <p>○児童生徒一人一人が自分らしさを発揮し、「明日また行きたい」と思える学校となっています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	全国学力・学習状況調査で、「学校へ行くのが楽しいと思う」と答えた児童生徒の割合	小学校6年 86.3% 中学校3年 84.5%	小学校6年 89.1% 中学校3年 86.3%	小学校6年 88.3% 中学校3年 83.4%				小学校6年 90.0% 中学校3年 85.0%
	体力テストにおいて、5段階評価の上位3段階(A+B+C段階)の児童生徒の割合	小学校6年 77.2% 中学校3年 79.3%	小学校6年 73.1% 中学校3年 83.7%	小学校6年 77.6% 中学校3年 81.5%				小学校6年 85.0% 中学校3年 90.0%

NO	事務事業	実績
1	交流教育推進事業	市立小中学校の特別支援学級の児童生徒が中学校区ごとに交流を深めるとともに、縦と横の連携を深めました。
2	さわやか相談員配置事業	市立4中学校に、学校教育に理解があり、生徒及び保護者の悩み相談や教育活動への支援をする「さわやか相談員」を配置しました。(本庄東中1名 本庄西中1名 本庄南中2名 児玉中2名 計6名配置)
3	ふれあい教室運営事業	学校教育に理解があり、本庄市教育支援センターに通級する児童生徒を指導支援し、一緒にスポーツ、レクリエーション活動をする「教育支援センター指導員」を配置しました。(相談員1名、指導員2名)
4	QUアンケート診断(小学校4~6年)	不登校やいじめ防止のため、魅力ある学校づくりを目的として、全市立小学校4~6年生を対象にWEBQUを年2回実施しました。また、指導者を招き、WEBQUの結果を分析し活用するため研修会を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	交流回数	中学校区	4	4	4	学校教育課
2	有	さわやか相談員の相談者数	人	190	243	250	学校教育課
3	有	利用した児童生徒が学校に復帰した割合	%	61	74	80	学校教育課
4	無	事務的経費のみで構成される事務のため					学校教育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性		評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。		意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	特別な支援が必要な児童生徒の人間関係の交流を一層広げるため、今後も継続します。
2	継続	生徒及び保護者の悩み相談や教育活動への支援をするため、今後も継続します。
3	継続	本庄市教育支援センターに通級する児童生徒を指導支援し、学校へ復帰させるため、今後も継続します。
4	継続	いじめ、不登校の減少と魅力ある学校づくりのため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4		

NO	事務事業	実績
5	QUアンケート診断(中学校1~3年)	不登校やいじめ防止のため、魅力ある学校づくりを目的として、全市立中学校1~3年生を対象にWEBQUを年2回実施しました。また、指導者を招き、WEBQUの結果を分析し活用するため研修会を実施しました。
6	人権教育研修会実施事業	市立小中学校における教員の研修会の開催及び授業実践を通して、人権教育の充実を図ることができました。
7	学校保健・体力向上推進事業	新体カテスト上位表彰、小学校縄跳び大会表彰、中学校持久走優秀者表彰、運動部活動表彰等を通じて、児童生徒の運動に対する意欲を高め、体力の向上を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	無	事務的経費のみで構成される事務のため					学校教育課
6	有	人権教育推進指定校	校	2	2	2	学校教育課
7	有	体カテスト総合評価A+B+Cの割合(小学校、中学校)	%	小77.7中79.3	小78.3中79.7	小87.0中87.0	学校教育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	いじめ、不登校の減少と魅力ある学校づくりのため、今後も継続します。
6	継続	人権教育の推進のため、今後も継続します。
7	継続	児童生徒の体力向上に対する意欲を高めるため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
5		
6		
7		

教育文化分野

未来を拓く人を育み、 歴史と文化の薫るまち

施策大項目	3 教育環境の整備							
めざす姿	<p>○児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、適切な支援員等の配置や登下校の安全対策が行われています。</p> <p>○安全・安心で明るい教育環境が整備されています。</p> <p>○ICT機器が様々な学習の場面において、効果的に活用され、誰もがICT教育を受けられる環境づくりが進んでいます。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	学校の支援員等の人数 <small>[学習補助教員、さわやか相談員、ふれあい教室相談員、学校図書館支援員、ICT支援員、部活動指導員等]</small>	93人	94人	94人				96人
	学校の大規模改修の進捗(実施割合)	-	-	5.5%				20%

NO	事務事業	実績
1	本泉地区児童通学用バス委託	本泉地区から秋平小学校へ通う児童が利用する通学用バスを委託しました。
2	本泉地区生徒、上仁手地区児童デマンドバス料金補助	本泉地区から児玉中学校へ通う生徒(6km以上)及び上仁手地区から仁手小に通学する児童のデマンドバス料金を補助しました。
3	上仁手地区児童タクシー委託	上仁手地区から通学する児童が下校時に利用するタクシーについて、当該タクシーの運行業務を委託し、通学の安全を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無 事務的経費のみで構成される事務のため					学校教育課
2	無 事務的経費のみで構成される事務のため					学校教育課
3	無 事務的経費のみで構成される事務のため					学校教育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	遠距離通学をする児童を援助するため、今後も継続します。
2	継続	仁手地区児童は全てタクシーに変更、本泉地区生徒は利用を一部継続します。
3	継続	遠距離通学をする児童を援助するため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3	R7拡充	上仁手地区児童が下校時のみ使用しているタクシーを登校時にも使用します。

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

3教育環境の整備

NO	事務事業	実績
4	小学校施設整備事業	各学校施設の老朽・危険箇所を改善するための改修を実施しました。
5	中学校施設整備事業	事業がなかったため実績はありません。
6	小学校ICT環境管理事業	ICT教育の推進を図るため、ハード及びソフトの整備を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	施設を維持管理するための運營業務であるため					教育総務課
5	無	施設を維持管理するための運營業務であるため					教育総務課
6	無	経常業務のため					教育総務課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	教育環境整備のため、学校施設の老朽・危険箇所を改善し、学校生活空間の質の向上を図る事業を継続していきます。
5	継続	教育環境整備のため、学校施設の老朽・危険箇所を改善し、学校生活空間の質の向上を図る事業を継続していきます。
6	継続	ICT教育の推進が図れるよう、維持管理を継続していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

NO	事務事業	実績
7	中学校ICT環境管理事業	ICT教育の推進を図るため、ハード及びソフトの整備を行いました。
8	学校図書館支援事業	各学校に学校図書館支援員を配置し、学校図書館の整備等をサポートしました。
9	ICT支援員配置事業	市立小中学校にICT支援員を配置し、教職員及び児童生徒が1人1台端末を活用するための支援を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	無	経常業務のため					教育総務課
8	有	全国学力学習状況調査で週に1回以上図書館を利用している割合(小6・中3)	%	—	小4.5(県11.4) 中3.2(県5.5)	県平均を上回る	学校教育課
9	有	「ICT支援員の配置は学習指導に効果がある」と答えた教員の割合	%	—	92.3	80	学校教育課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	ICT教育の推進が図れるよう、維持管理を継続していきます。
8	継続	学習環境の充実及び教員の負担軽減を図るため、今後も継続します。
9	継続	令和7年度にタブレットの入替えがあるため、継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		
9		

教育文化分野

未来を拓く人を育み、
歴史と文化の薫るまち

施策大項目	4 生涯学習の活発化							
めざす姿	<p>○魅力的な学習プログラムや、参加しやすい週末等の講座が増えるとともに世代間交流が活発化し、生涯学習に参加する市民が増えています。</p> <p>○市民の生涯学習を支える知の拠点として、図書館が活発に利用されるとともに若い世代が学習・交流の場として活用しています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	市民総合大学の 受講者数	4,463人	4,333人	4,163人				8,200人
	図書館利用者数 <small>[本館と児玉分館の図書資料の利用者数、催し物参加者数、施設の利用者数の合計(年間)]</small>	71,018人	69,908人	76,766人				128,000人

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

4生涯学習の活発化

NO	事務事業	実績
1	市民総合大学推進事業	本庄市の将来像「あなたが活かす、みんなで育む、歴史と教育のまち 本庄～世のため、後のため～」を実現していく人材の育成と市民一人一人が自己を高め、人格を磨き、幸せで豊かな人生を送ることを目的に開催しました。
2	本庄市青少年育成市民会議交付金	青少年の健全育成を地域で取り組むと共に、行政機関や関連団体と連携して非行防止活動を行いました。
3	本庄市青少年相談員協議会補助金	市内の児童を対象にしたサマーキャンプ、お楽しみ会などの活動に対して支援をしていますが、感染症対策等のため活動が中止となりました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	延べ受講者数	人	4,333	4,163	8,200	生涯学習課
2	有	青少年健全育成標語応募数	点	3,112	3,126	3,300	生涯学習課
3	無	事務的経費のみで構成される事務のため					生涯学習課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	原則として対象年齢を設けず多様な講座を開催し、質の高い学びの機会を提供することで、市民一人一人の自己実現と次代を担う人材育成を推進します。
2	継続	青少年を対象とした、標語の募集、管外研修、健全育成のつどいなどを行うことで、青少年の健やかな成長や発達を支援します。
3	継続	こどもたちの健全育成のための活動を継続して支援することで、次代を担う人材育成を推進します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

NO	事務事業	実績
4	親の学習推進事業	学校や保育園等からの依頼を受け、本庄市親の学習推進委員会から派遣された講師が、「親の学習」講座を開催し、家庭での教育力を高めるなどの子育て支援をしました。
5	小学生学習支援事業	小学生を対象に、公民館等で土曜日の午前中(2回/月)に、地域から募集した支援者(コーディネーター、教育活動推進員等)が先生となり、宿題やドリルなどの自主学習やスポーツ、文化芸術活動などの体験学習の支援を行いました。
6	本庄公民館管理運営事業	本庄公民館の貸室業務と、公民館事業として各種講座・教室を開催し、市民の生涯学習の場を提供しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	「親の学習」講座参加者数	人	758	833	1,800	生涯学習課
5	有	参加延べ児童数	人	892	1,027	1,300	生涯学習課
6	有	講座等施設利用者数	人	6,441	6,905	9,500	生涯学習課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	子育て支援団体等と連携しながら、事業を実施していくことで家庭での保護者の教育力、指導力が高まると期待できるため、今後も継続します。
5	継続	公民館等において、子どもにとって安全な居場所を設け、自主学習、スポーツ及び文化芸術活動等の体験学習により、子どもたちの自主性及び創造性を育みます。また、地域の人たちと身近に触れ合わせることで地域交流を図ります。
6	継続	今後も地域に開かれた公民館としての役割を果たし、事業を実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

4生涯学習の活発化

NO	事務事業	実績
7	児玉中央公民館管理運営事業	児玉中央公民館の貸室業務と、公民館事業として各種講座・教室を開催し、市民の生涯学習の場を提供しました。
8	市民文化会館管理運営事業	平成18年9月から指定管理者制度を導入して、事業の運営と施設の維持管理を行っています。公共施設維持保全計画に基づいて、施設の工事、修繕を行いました。
9	児玉文化会館管理運営事業	市民文化の向上に寄与し、もって住民の福祉の増進を図ることを目的として、事業の運営と施設の維持管理を行っています。令和5年度には利用者の安全のため、エレベーターやホール天井等の耐震化工事を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	有	講座等施設利用者数	人	8,131	11,290	12,500	生涯学習課
8	有	施設利用者数	人	55,993	62,588	80,000	生涯学習課
9	有	施設利用者数	人	19,533	23,440	40,000	生涯学習課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	今後も児玉地域公民館(児玉公民館・共和公民館)とともに地域に開かれた公民館としての役割を果たし、事業を実施していきます。
8	継続	継続して指定管理者による管理運営を行っていきます。必要な修繕、改修工事を実施していきます。
9	継続	公共的な利用や講演会及び地域の発表会等の需要に即した改修等の維持管理を行い、施設の長寿命化を図ります。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8	R7拡充	本庄市民文化会館の修繕・工事や消耗品・備品購入を予定しています。
9		

NO	事務事業	実績
10	総検校塙保己一先生遺徳 顕彰会補助金	郷土の偉人塙保己一の遺徳顕彰を目的とした市民団体の普及活動を支援することにより、広く郷土愛の醸成が図れました。
11	図書館サービス事業	図書や資料の充実、読書講座の開催、ブックスタート事業やおはなし会の実施、読み聞かせボランティア団体との情報共有を図りながら、多岐にわたり図書館サービスの向上を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
10	無	事務的経費が主なため					文化財保護課
11	有	図書館利用者数	人	69,908	76,766	128,000	図書館

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価 がそ ぐわ ない 。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
10	継続	引き続き、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会への補助金を継続します。
11	継続	幅広い年代の様々なニーズに応じるため、蔵書の充実を図るとともに、講座・講演会等の事業を実施することにより、図書館サービスの充実に努めます。

NO	年度	新規・拡充内容
10		
11		

教育文化分野

未来を拓く人を育み、
歴史と文化の薫るまち

施策大項目	5 文化財の保護と活用の推進							
めざす姿	<p>○文化財が大切に保護され、継承されています。</p> <p>○文化財が学校教育や生涯学習の場で活用され、理解が深まっています。</p> <p>○文化財が活用され、地域の活性化や本市のPRに貢献しています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	文化財施設等への入館者数 <small>[塙保己一記念館・競進社模範蚕室・本庄早稲田の社ミュージアムの入館者数の合計(年間)]</small>	26,651人	21,736人	26,237人				27,200人

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

5文化財の保護と活用の
推進

NO	事務事業	実績
1	雉岡城跡公園維持管理事業	雉岡城跡の維持管理のため、樹木の枝の剪定や下草の除草作業等を実施しました。また、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」孵化幼虫の桜樹幹への食入防止のため、防除剤の散布を行いました。
2	塙保己一記念館管理運営事業	県指定文化財である塙保己一の遺品や関係資料を展示公開している記念館の管理運営を行いました。
3	競進社模範蚕室管理運営事業	県指定文化財であり、競進社の歩みや養蚕等に関する資料を展示する施設でもある競進社模範蚕室の維持管理を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無 史跡を維持管理する事業であるため					文化財保護課
2	有 年間入館者数	人	4,855	5,206	6,000	文化財保護課
3	有 年間入館者数	人	1,740	2,336	2,550	文化財保護課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	樹木の剪定等の管理業務を行い、景観維持及び環境整備を図っていく必要があります。
2	継続	塙保己一の業績を広く市内外へ向け紹介するため、遺品や関係資料の展示公開を行っている記念館を維持管理していく必要があります。
3	継続	資料展示施設としての機能も継続しながら、日本の近代化に大きな役割を担った養蚕業・養蚕教育に果たした競進社模範蚕室の役割を市内外へ紹介していく必要があります。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

5文化財の保護と活用の
推進

NO	事務事業	実績
4	遺跡発掘調査事業	開発に伴う試掘調査や個人住宅建設に伴う発掘調査を行いました。
5	文化財保存啓発事業	有形文化財管理者への保管謝礼を交付し、無形民族文化財保存団体と「金鑽神社大門修理事業」「東富田観音塚のマツ保全事業」に文化財保存事業費補助金を交付しました。
6	本庄早稲田の杜ミュージアム管理運営事業	恵まれた自然環境を有する大久保山や宍勝寺裏埴輪窯跡等の貴重な遺跡に囲まれた一帯を「本庄早稲田文化の杜」とし、その中核となるミュージアムは、展示による地域の魅力発信のみならず、体感的な教育普及活動等を展開することで、地域文化の拠点となる事業を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	主に民間事業者の開発に伴う埋蔵文化財保存事業であり、事業量の予測が困難なため					文化財保護課
5	無	修繕や除草等指定文化財を維持管理する業務が主であるため					文化財保護課
6	有	入館者数	人	15,141	18,695	17,400	文化財保護課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	遺跡保護のため必要な試掘調査および個人住宅の発掘調査を実施していく必要があります。
5	継続	指定有形文化財の修理等や指定無形民族文化財の活動に対し補助金の交付を行い、文化財の保存・整備事業を進めていく必要があります。
6	継続	本庄早稲田文化の杜の中核施設として、運営の継続が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

教育文化分野

未来を拓く人を育み、
歴史と文化の薫るまち

施策大項目	6 生涯スポーツ・レクリエーションの促進							
めざす姿	<p>○市民一人1スポーツが定着し、健康で生きがいを持った市民が増えています。 ○スポーツ・レクリエーションに取り組む市民が満足できる施設整備が行われています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	体育施設を利用した市民の数	466,613人	513,209人	540,627人				527,000人
	スポーツクラブ数 <small>[本庄市スポーツ協会・本庄市レクリエーション協会・本庄市スポーツ少年団に加入している団体数及び体育施設利用団体数(登録団体数・年間)]</small>	298団体	288団体	287団体				337団体

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

6生涯スポーツ・レクリエ
ーションの促進

NO	事務事業	実績
1	スポレクフェスタの開催事業	「市民一人1スポーツ」の実現に向け、気軽に参加できるイベントとしてスポレクフェスタを開催するため、スポレクフェスタ実行委員会に対し、交付金を交付しました。
2	スポーツ・レクリエーション教室・大会の開催事業	市民がスポーツ・レクリエーション活動に気軽に参加できるように各種教室やイベントを開催し、市民の健康づくり・体力づくりを図りました。
3	スポーツ協会及びレクリエーション協会が開催する教室・大会への交付金の交付事業	市民の多様なニーズに応じたスポーツ・レクリエーションを提供するため、スポーツ協会及びレクリエーション協会が開催する市民を対象とした教室・市民大会等に対し、交付金を交付しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	スポレクフェスタへの延べ参加者	人	4,100	4,800	9,000	スポーツ推進課
2	有	スポーツ・レクリエーション教室等の延べ参加者数(元旦マラソン含む)	人	923	1,165	1,400	スポーツ推進課
3	有	スポーツ協会及びレクリエーション協会が開催した教室延べ参加人数	人	1,060	1,742	2,000	スポーツ推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	今回は、会場を本庄総合公園のほか市内3箇所に分かれて開催する分散方式としました。スタンプラリーなども復活し、4800人の参加者に各種スポーツ・レクリエーションの体験を楽しんでいただきました。今後も、実行委員会の意見を参考に、より充実したイベントになるよう改善を図っていきます。
2	継続	元旦マラソンを始め各種教室・大会を開催し、大勢の参加者で賑わいました。今後も、さらなるスポーツ人口の拡大を図るため、市民が参加しやすい教室・大会を開催していきます。
3	継続	スポーツ協会及びレクリエーション協会が開催する市民を対象とした教室・市民大会等に対し、交付金を交付しました。今後も教室・市民大会等への支援を継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

6生涯スポーツ・レクリエ
ーションの促進

NO	事務事業	実績
4	スポーツ少年団・スポーツ協会及びレクリエーション協会への交付金の交付事業	市内スポーツ・レクリエーション団体の育成と組織の強化、指導者の養成と確保及び資質の向上を目的として、スポーツ少年団・スポーツ協会及びレクリエーション協会に対し、交付金を交付しました。
5	スポーツ・レクリエーション指導体制整備事業	スポーツ推進委員28名を委嘱し、市民にスポーツ・レクリエーションの実技指導、その他スポーツ・レクリエーションに関する指導助言を行いました。
6	ウォーキングの普及	市民にウォーキングを普及させるため、教室の開催やウォーキングマップを市内各施設に配布することで、ウォーキングの普及を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	スポーツ少年団・スポーツ協会及びレクリエーション協会加盟団体	団	59	59	64	スポーツ推進課
5	有	スポーツ推進委員の年間活動回数(定例会、主催するスポーツ教室、イベント等の回数)	回	38	45	50	スポーツ推進課
6	有	ウォーキング教室の延べ参加者	人	448	445	700	スポーツ推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	スポーツ少年団・スポーツ協会及びレクリエーション協会に対し、交付金を交付しました。今後も各団体の育成と組織の強化、指導者の資質の向上を目的として、交付金を交付します。
5	継続	スポーツ・レクリエーションの推進を図るため、研修会等への参加を促進しました。また、各種教室・イベント等を開催し、スポーツ・レクリエーションの推進に努めました。今後も、市民のスポーツ推進のための活動を支援します。
6	継続	「市民一人1スポーツ」の実現に向け、初期費用をあまり掛けずに開催できるウォーキング教室やウォーキングマップを活用したイベントを実施しました。今後も、気軽に取り組むことのできるスポーツの1つとして、ウォーキングの普及に努めます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

2未来を拓く人を育み歴史と
文化の薫るまち

施策
大項目

6生涯スポーツ・レクリエ
ーションの促進

NO	事務事業	実績
7	体育施設管理運営事業	スポーツの振興及び普及を図り、市民の健康維持・増進を促す事業を推進し、平成25年度から公園施設及び体育施設の一部に指定管理制度を導入するとともに施設の維持管理と利用の増加を図りました。また市民球場と本庄総合公園体育館に加え、児玉総合公園体育館にもネーミングライツを導入し施設の整備に活用しました。
8	学校体育施設開放事業	スポーツ・レクリエーション活動の場の確保と、学校体育施設の効果的活用を図るため、小学校12校、中学校4校、計16校の校庭(夜間照明を含む)、体育館及び武道場を学校教育に支障のない範囲で市民に開放し、社会体育の振興を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	有	市内体育施設の年間延べ利用者人数	人	513,209	540,627	527,000	スポーツ推進課
8	有	学校体育施設の年間のべ利用者数	人	149,975	152,191	153,103	スポーツ推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	引き続き「市民一人1スポーツ」を推進するため、体育施設の安全確保に努めると共に、計画的な修繕による維持管理を図ります。
8	継続	引き続き「市民一人1スポーツ」を推進するため、小中学校体育館・武道館及びグラウンドを学校教育の支障のない範囲で貸し出すと共に、学校と連携し適切な維持管理を行います。

NO	年度	新規・拡充内容
7	R7拡充	カミケンシルクドームの空調機のフィルター交換修繕を行います。
8		

経済環境分野

持続可能で活力に満ちた、
にぎわいと魅力のあるまち

施策大項目	1 農林業の振興							
めざす姿	<p>○農地の利用集積が進むことで、安定的・効率的な農業経営の農家が増加し、農家1戸あたりの生産性の向上が図られています。</p> <p>○環境にやさしい農業に取り組む農業者が増加し、安全・安心で高品質な農産物の産地育成が図られています。</p> <p>○農業用水路・農道・農地等の地域資源が地域協働活動で適正に維持管理され、良好な農村環境や営農の継続が図られています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	農地中間管理事業の 集積面積(累計)	21,541a	25,692a	27,130a				100,000a
	環境保全型農業の取 組面積(年間)	4,113a	4,279a	4,246a				5,600a
	農村環境保全活動参 加人数(年間)	2,704人	2,631人	2,556人				5,600人

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策大綱	3持続可能で活力に満ちたにぎわいと魅力のあるまち	施策大項目	1農林業の振興
------	--------------------------	-------	---------

NO	事務事業	実績
1	新規就農総合支援補助事業	経営の不安定な就農初期段階の青年就労者に対し、補助金を交付し(年度ごと1人150万円。最大3年間)就労意欲の喚起及び就農の定着を図りました。(国庫補助)
2	経営体育成条件整備補助事業	地域農業の担い手(中心的経営体)育成のため、経営規模の拡大等に取り組む経営体に対して、施設の導入支援するものですが、令和5年度は要望がありませんでした。(国庫補助)
3	有機100倍運動推進補助事業	減農薬・減化学肥料栽培の野菜産地を形成することにより安全安心な野菜の提供及び販売促進につながりました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	新規就農者数(新規認定補助者)	人	4	3	4	農政課
2	無	補助金の交付事務のため					農政課
3	有	エコ農業に取り組む農地面積	a	5,071	6,117	8,000	農政課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	地域農業を支える人材を安定的に確保、育成する必要があるため、今後も継続します。
2	継続	地域の中心となる農業者を支援し、農業振興を図る必要があるため、今後も継続します。
3	継続	安全な農産物を供給できる環境を整え、市民生活の安定に寄与する事業であるため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策大綱	3持続可能で活力に満ちたにぎわいと魅力のあるまち	施策大項目	1農林業の振興
------	--------------------------	-------	---------

NO	事務事業	実績
4	観光農業センター管理運営事業	観光農業センターは、観光農業の振興を図り、もって地域社会の活性化に資するとともに、住民の福祉を増進する事を目的とした施設で、指定管理者であるNPOネットワークひがしこいだいらが管理運営を行いました。
5	ふれあいの里いずみ亭管理運営事業	ふれあいの里いずみ亭は、山村振興法に基づく指定地域である本泉地区の恵まれた自然環境を生かした地域の活性化を図るとともに農林産物の展示直売及び都市との交流を促進するための施設で、指定管理者であるふれあいの里本泉が管理運営を行いました。
6	有害鳥獣捕獲業務委託事業	春・冬2回、野生鳥獣による農作物被害を抑えるため、児玉地域の中山間地を中心に駆除を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	施設利用者	人	9,125	7,839	12,000	支所環境産業課
5	有	施設利用者数(体験交流活動者・一般利用者)	人	30,794	32,345	33,000	支所環境産業課
6	有	委託契約による農作物の被害となる有害鳥獣駆除数(イノシシ、シカ、アライグマ等)	頭	94	100	180	支所環境産業課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	施設を維持管理するため、今後も継続します。
5	継続	施設を維持管理するための運営業務であるため、今後も継続します。
6	継続	農作物の被害を減少するため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5	R7拡充	障害者用トイレ内におむつ交換台を設置します。
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策大綱	3持続可能で活力に満ちたにぎわいと魅力のあるまち	施策大項目	1農林業の振興
------	--------------------------	-------	---------

NO	事務事業	実績
7	本庄市鳥獣被害防止対策協議会運営事業	協議会運営と協議会による秋1回の有害鳥獣捕獲業務委託を実施しました。
8	農業近代化資金利子補給事業	認定農業者の農業近代化に資するため、融資機関が貸しつける資金に対し、利子補給を行い農業経営の安定を図りました。(上期18件、下期19件)
9	多面的機能支払交付金事業	本庄市の農業の発展を推進するため、農地の維持活動または資源向上活動を通じ地域内に存する農用地、水路、農道等の地域資源及び農村環境の保全を図る団体又は活動組織に負担金及び補助金を交付しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	有	協議会による農作物の被害となる有害鳥獣駆除数(イノシシ、シカ、アライグマ等)	頭	67	71	110	支所環境産業課
8	無	事務的経費のみで構成される事業のため					農政課
9	有	農村環境保全活動参加人数(上里町農地環境保全広域協定を除く3団体)	人	2,631	2,556	5,600	農政課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	農作物の被害を減少するため、今後も継続します。
8	継続	農業者の資本装備の高度化を図るため、今後も継続します。
9	継続	農業者自ら農地維持に享受できるため、市が自ら運営を行っている組織を改善していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		
9		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策大綱	3持続可能で活力に満ちたにぎわいと魅力のあるまち	施策大項目	1農林業の振興
------	--------------------------	-------	---------

NO	事務事業	実績
10	農業委員会事務及び農地利用最適化推進事業	農業委員会等に関する法律等に基づき、農業委員会総会を開催する他、農地利用最適化推進協議会の開催や農地の権利調整及び集積集約に関する事務を執行し、農地利用の最適化の推進を図りました。
11	農地中間管理事業	農地中間管理機構(埼玉県農林公社)からの一部委託を受け、農地の集積・集約化を図るための事業を実施し、今年度は1,437aの農地の集積を行いました。
12	木材利用・人材育成イベント運営事業	「森林・林業体験」を通じて森林の重要性を知るきっかけづくりを目的とし、本庄総合公園内バーベキュー広場周りで、①森林・林業普及啓発②構成農林業機械デモンストレーション③ツリーイングを実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
10	無 事務的経費のみで構成されている事業のため					農業委員会事務局
11	有 農地の集積面積	a(アール)	25,692	27,130	100,000	農業委員会事務局
12	無 事務的経費のみで構成される事業のため					支所環境産業課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
10	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
12	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
10	継続	農業委員会は農地法やその他農地に関する法律に係る業務を執行する行政委員会であることから、継続して事業を実施します。
11	継続	国の政策である「農地の集積・集約化に向けた農地中間管理機構の活用」を促進するため、継続して事業を実施します。
12	継続	それぞれの実情に応じた森林整備及びその促進に関する事業を幅広く弾力的に実施します。

NO	年度	新規・拡充内容
10		
11		
12		

経済環境分野

持続可能で活気に満ちた、
にぎわいと魅力のあるまち

施策大項目	2 商業の振興							
めざす姿	○市内の商業環境の活性化が進み、地域の商業拠点が維持されています。							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	市内商店街加入事業者数	300 事業者	256 事業者	256 事業者				330 事業者
	空き店舗を利用して営業している事業者数 <small>[本庄市中心市街地空き店舗対策補助事業を利用して営業を開始した事業者数]</small>	34事業者	32事業者	35事業者				46事業者

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

3持続可能で活力に満ちたに
ぎわいと魅力のあるまち

施策
大項目

2商業の振興

NO	事務事業	実績
1	商工業振興事務事業	商店街の活性化や商工業の総合的な発展及び振興を図るため、商工業振興事業を実施する団体への補助をしました。
2	商工業振興事務費	児玉地域内における商工業の総合的な経営改善普及事業の推進を図るとともに、社会一般の福祉事業の増進に資するため、地域経済団体として活動している児玉商工会に補助金を交付しました。
3	空き店舗対策補助事業	空き店舗を利用して営業を開始した事業主に対して、改装費の一部を補助しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	商工会議所会員数	件	1,528	1,522	1,590	商工観光課
2	無	児玉地域の経済団体として活動する児玉商工会への補助金交付事務のため					支所環境産業課
3	有	空き店舗対策事業補助金新規申請件数	件	3	4	10	商工観光課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	商工業の振興を図るため、本庄商工会議所の支援は継続が必要です。
2	継続	児玉地域内における商工業の経営改善普及事業、総合振興事業等の推進を図っている児玉商工会へ補助金を交付します。今後は、会の現況や実績等を精査したうえで補助金額の見直しや方向性等の判断をします。
3	継続	令和元年度に、より多くの店舗に使っていただけるよう要綱を修正しており、毎年度申請があるため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策大綱	3持続可能で活力に満ちたにぎわいと魅力のあるまち	施策大項目	2商業の振興
------	--------------------------	-------	--------

NO	事務事業	実績
4	空き店舗ゼロプロジェクト事業	埼玉県のNEXT商店街プロジェクト事業の後継事業として、専門家のコーディネートの下プロジェクトを進めました。
5	商店街振興事業	商業の振興を図るため、街路灯電気料に対して補助を行いました。
6	中小企業融資事業	中小企業事業拡大のための資金融資を行うため、金融機関へ預託金を支出しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	空き店舗活用(リノベ・イベント等)件数	件	3・23	4・27	5・30	商工観光課
5	有	商店街加入事業者数	事業所	256	256	315	商工観光課
6	有	中小企業事業協同組合融資実行額	千円	1,199,200	1,293,721	1,320,000	商工観光課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	見直し	平成30年度から2年間埼玉県からの支援を受けて実施しました。この実績を参考に、その後も専門家に業務を委託して事業を継続してきましたが、行政にノウハウが蓄積されたことや、まちづくりに興味を持ち、自走するプレイヤーが現れてきたことから、自主運営に切り替え今後も継続していきます。
5	継続	商業振興には、商店街への支援を継続することが必要です。
6	継続	金融機関が低金利の融資制度を設けていることから、市の融資制度の必要性が低下しています。金融機関と預託金の減額や貸出金利の引下げなどの交渉が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5	R7拡充	街路灯の維持が困難になった商店会を支援するため、商店街街路灯の撤去(間引き)に対して補助金を交付します。
6		

経済環境分野

持続可能で活力に満ちた、
にぎわいと魅力のあるまち

施策大項目	3 工業の振興							
めざす姿	<p>○新たな産業が誘致・集積され多数の雇用が確保されることで、生産能力を向上させるための定住人口が増加しています。また、職住が調和した地域社会が醸成されています。</p> <p>○新たな産業が集積し、同業並びに異業種の企業交流や連携等が図られ、起業へ向けた発展しやすい地域づくりが進んでいます。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	企業の立地件数 [市外からの立地件数及び市内企業の増設件数(平均17年度以降の累計)]	63件	65件	67件				75件

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策 大綱	3持続可能で活力に満ちたに ぎわいと魅力のあるまち	施策 大項目	3工業の振興
----------	------------------------------	-----------	--------

NO	事務事業	実績
1	企業誘致奨励金	本庄市企業誘致条例に基づいて指定した優遇措置指定企業に対して奨励金を交付しました。令和5年度実績:13社に交付(施設奨励金11件、設備投資奨励金2件、雇用促進奨励金3件、法人市民税奨励金3件)
2	中小企業対策事業	市内の中小企業の振興に資するため、中小企業対策事業を実施する団体を支援し、地域経済の振興を図りました。また、創業者支援として、インキュベーション施設入居者に対する補助を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	奨励金実施件数	件	18	19	15	産業開発室
2	有	経営指導員の指導件数	件	4,998	4,545	5,100	商工観光課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価 がそ ぐわ ない 。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	引き続き企業訪問等により、奨励金制度の周知に努めるとともに、対象の設定等、検討を行います。
2	継続	中小企業の振興には、継続的な支援が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		

経済環境分野

持続可能で活力に満ちた、
にぎわいと魅力のあるまち

施策大項目	4 観光の振興							
めざす姿	<p>○本市の地域資源を媒介に訪れる人たちと市民の交流が深まり、「また来たい」と思われる観光地となっています。</p> <p>○農業・工業など、地域の産業と結びついた観光活性化策が繰り広げられています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	観光客入込客数 [各種イベントや、各地区の祭りなどにおける観光客数の合計(年間)]	39.8万人	56.1万人	71.4万人				80.0万人
	推奨土産品認定数 [本庄市観光協会が中心となって認定している推奨土産品数(累計)]	64品	64品	56品				90品

NO	事務事業	実績
1	観光協会補助事業	本庄市観光協会が行う各種事業を支援し、本市の観光振興を図りました。
2	観光振興計画推進事業	体験型観光「すまいる日和」を実施し、観光振興計画の推進を図りました。
3	観光推進事業	こだま千本桜まつり及びライトアップ事業の開催、こだま夏まつり、こだま秋まつりへの協力をを行い、観光振興の推進を図りました。また、県立上武自然公園内の環境保全のため、児玉地域内の活動団体に業務委託し、美化清掃を実施しました。
4	インフォメーションセンター運営事業	インフォメーションセンターは、駅利用者の利便の向上を図り、市内観光の情報発信を行うことを目的とした施設で、指定管理者であるTMO本庄が管理運営を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	観光入込客数	人	561,668	714,335	800,000	商工観光課
2	有	体験型観光プログラム実施数	件	18	30	50	商工観光課
3	有	①こだま千本桜まつり、②こだま夏まつり、③こだま秋まつりの入込客数	人	①12,000 ②500(縮小開催) ③25,000	①10,000 ②30,000 ③35,000	①18,000 ②38,000 ③40,000	支所環境産業課
4	有	観光物産販売品売上	円	11,018,680	13,251,360	15,000,000	商工観光課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	観光事業の振興を図るため、引き続き支援していきます。
2	継続	プログラムの見直し、拡充を行っていきます。
3	継続	こだま千本桜まつり及びライトアップ事業の開催、こだま夏まつり、こだま秋まつりへの協力をを行います。また、県立上武自然公園内の環境保全のため、地域団体(7団体)への美化清掃作業を業務委託を実施します。
4	継続	観光案内や推奨土産品等の紹介・販売を行います。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4	R7拡充	インフォメーションセンター及び自転車等駐車場の管理をしている指定管理者への指定管理業務委託料を拡充します。

経済環境分野

持続可能で活力に満ちた、
にぎわいと魅力のあるまち

施策大項目	5 いきいき働ける環境づくりと消費者の安全と利益の確保							
めざす姿	<p>○関連制度が充実し、中小事業所の勤労者福祉が改善しています。</p> <p>○消費者トラブルを未然に防ぐとともに、消費者がトラブルに遭った際に、迅速に対応できる体制が整備されています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	労働者人口 〔国勢調査による労働力人口(就業者と完全失業者を合わせた人口)〕	39,724人	-	-				40,000人
	消費生活相談により、相談者が納得のいく結果となった率	99%	99%	99%				100%

NO	事務事業	実績
1	労働福祉増進事務費	弁護士に年4回、労働法律相談を委託し、労使間のトラブル等問題に対処しました。
2	雇用対策事業	本庄地区雇用対策協議会に補助金を交付し、地域における雇用の安定と労働力の供給を図りました。
3	労働者福利厚生事業	小規模事業者が支出する退職金共済掛金の一部補助を行いました。また、中央労働金庫本庄支店に預託し、勤労者の住宅資金貸し付けの斡旋を行いますが、近年、申込者がいない状況です。
4	消費者相談事業	本庄市消費生活相談員が週4日相談を受け、消費者と事業者間の契約トラブル等の問題を解決しました。相談件数は274件でした。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無	事務的経費のみで構成される事務のため					商工観光課
2	有	学卒求人説明会開催回数	回	1	1	1	商工観光課
3	有	中小企業退職金共済掛金補助人数	人	49	28	60	商工観光課
4	有	消費生活相談により、相談者が納得のいく結果となった率(納得いく結果となった件数/消費生活相談員が事業者と交渉した件数)	%	99	99	100	商工観光課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	労働者の暮らしの安全を守るため、労使間のトラブル問題等を専門家に無料で相談できる機会を継続して設ける必要があるため、今後も継続します。
2	継続	本庄地区雇用対策協議会では、近年市内や近隣の高校と連携しインターンシップや企業訪問を行っており、地元高校生の就職に大変貢献しているため、今後も継続します。
3	継続	中小企業退職金共済掛金補助は、小規模事業者支援のため、今後も継続します。勤労者住宅資金については、平成16年度から融資の実績がないため、運用について今後検討していきます。
4	継続	消費者と業者間のトラブルは年々複雑化し、相談内容も多様化しています。事業の継続が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4	R7拡充	消費生活相談のデジタル化に対応するため端末及びプリンターを設置します。

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

3持続可能で活力に満ちたに
ぎわいと魅力のあるまち

施策
大項目

5いきいき働ける環境づくりと消
費者の安全と利益の確保

NO	事務事業	実績
5	消費者啓発事業	消費生活サポーターによるサロン等での出前講座や市主催のイベント等での啓発品の配布、埼玉県と連携した相談員との連携研修会を実施しました。
6	多様な働き方推進事業	多様な働き方を推進するため、女性起業家の支援をテーマとして、その道のプロ(講師)とファシリテーターによるLady★Goのイベントを1回、セミナーを2回開催しました。
7	本庄市多様な働き方実践企業認定事業	働き方改革の推進を目指して、平成31年4月1日に「本庄市多様な働き方実践企業認定制度実施要綱」を施行しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	有	消費者被害防止啓発活動	回	4	12	10	商工観光課
6	有	起業家セミナー、イベントへの参加人数	人	185	1,031	500	商工観光課
7	有	本庄市多様な働き方実践企業認定数	社	0	0	1	商工観光課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	消費生活講座や消費生活啓発活動を行うことで、消費者被害の未然防止と早期発見を図る必要があるため、今後も継続します。
6	見直し	Lady★Goの取組は参加者からも好評をいただいております。様々な働き方の提案の場として、多くの参加者を集うことができた点で一定の成果がありました。今後は女性に限定しないセミナー等を企画し、多様な働き方があることを知る機会や、起業など同じ志を持つ仲間同士のネットワーク作りが図れる場を提供していきます。
7	継続	制度の施行以降、新型コロナウイルス感染症の影響があり、未実施の期間があったため、認定企業数は0件となっています。本庄市で働きやすい環境の事業者を増やしていくため制度の周知を進めていきます。

NO	年度	新規・拡充内容
5		
6		
7		

経済環境分野

持続可能で活力に満ちた、
にぎわいと魅力のあるまち

施策大項目	6 環境対策の充実							
めざす姿	<p>○市・市民・事業者が、地球温暖化・気候変動を抑制する取組を実施し、脱炭素社会が実現しています。</p> <p>○市内を流れる河川との共生や保全活動の取組により、市内の全ての河川で環境基準を達成しています。</p> <p>○環境に配慮した市民・事業者の活動スタイルが定着し、省エネルギー社会が実現しています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	温室効果ガス(CO2) 総排出量削減率 <small>[市の事業のみ、平成25年度比]</small>	18.0%	5.6%	3.2%				37.9%
	住宅の省エネ・創エネ 設備の普及率 <small>[本庄市エコタウン補助金交付件数と世帯数から算出]</small>	5.6%	6.2%	6.7%				15.0%
	環境基準(BOD)を達 成した河川の割合	50.0%	50.0%	50.0%				100.0%

NO	事務事業	実績
1	事業所用エネルギーシステム導入事業補助事業	市内の事業所がエネルギーシステム等を導入する際に、予算の範囲内で補助を行いました(延実績31件)。
2	追尾式太陽光発電システム運営管理事業	追尾式太陽光発電システムの維持管理のため、点検・修繕を行いました。追尾式太陽光発電システムで発電した電気の売電収入を環境基金に積み立てを行いました(令和5年度実績272万円)。
3	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	自己居住用住宅に太陽光発電システムを設置する者に対し、予算の範囲内で補助を行いました(延実績1,547件)。
4	住宅省エネ改修補助事業	自己居住用住宅を省エネ改修する者に対し、予算の範囲内で補助を行いました(延実績401件)。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	補助金交付数	件	1	1	3	環境推進課
2	無	設備を管理運営する事業であるため					環境推進課
3	有	補助金交付数	件	84	71	90	環境推進課
4	有	補助金交付数	件	45	35	50	環境推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	事業所のエネルギーシステムの設置は、住宅の設置と比較して、温室効果ガス削減に大きく寄与するため、事業を継続します。
2	完了(終了)	追尾式太陽光発電システムは、令和6年3月のパネル等落下事故により、安全性を確保した上での運営の継続ができなくなりました。再生可能エネルギー活用推進の象徴的な設備としての役割を終了することとします。
3	継続	温室効果ガス削減に寄与し、今後も多くの申請が見込まれるため、事業を継続します。
4	継続	温室効果ガス削減に寄与し、今後も多くの申請が見込まれるため、事業を継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4		

NO	事務事業	実績
5	住宅用エネルギーシステム設置補助事業	自己居住用住宅にエネルギーシステムを設置する者に対し、予算の範囲内で補助を行いました(延実績423件)。
6	環境マネジメントシステム推進事業	毎年度、環境マネジメントシステムの運用に関する審査を行い、適切な運用を行いました(令和5年度実績1回)。
7	生活排水対策重点事業	元小山川浄化活動推進実行委員会の活動事業により、川の水質改善に向けた啓発と清掃作業を実施しました。
8	環境調査分析事業	市内の河川や池等の水質と自動車騒音などの調査分析を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	有	補助金交付数	件	72	75	85	環境推進課
6	有	環境マネジメントシステム運用審査回数	回	1	1	1	環境推進課
7	有	元小山川のBOD75%値を環境基準である3.0mg/L以内にする	mg/L	湧泉橋:3.8 元小山川:5.5 合流点:4.6	湧泉橋:1.8 元小山川:3.6 合流点:2.4	湧泉橋:3.0 元小山川:3.0 合流点:3.0	環境推進課
8	無	内部管理事務のため					環境推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	温室効果ガス削減に寄与し、今後多くの申請が見込まれるため、現在の補助対象エネルギーシステムの普及状況や新技術の動向を注視し、エネルギーシステムを取り巻く状況の変化に対応しながら事業を継続します。
6	継続	市の事務事業において、PDCAサイクルによる継続的な環境配慮活動を推進します。
7	継続	元小山川浄化活動推進実行委員会の活動を支援して、元小山川の水質改善を図ります。
8	継続	水質等の調査や騒音・振動・臭気などの測定を行うことで現状の把握に努めるとともに、環境の保全を目指します。

NO	年度	新規・拡充内容
5		
6		
7		
8		

NO	事務事業	実績
9	環境対策事務費	騒音・振動・悪臭の対策研修会への参加、野焼き・空き地の雑草などに起因する苦情等へ対応しました。
10	放置自転車等対策事業	公共の場所における自転車等の放置を防止し、安全かつ良好な生活環境の保持を図るため、放置自転車等の撤去を行いました。
11	生活排水処理施設設置補助事業	単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換に対し補助金を交付しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
9	無	市民からの相談への対応件数は、こちらの努力で件数を減らすことが出来ず、解決した件数もどちらとも言えないケースがあるため					環境推進課
10	有	放置自転車等撤去台数	台	37	31	10	環境推進課
11	有	補助対象件数	基	21	9	30	環境推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
9	継続	環境審議会において、環境の保全及び創造に関する事項等について審議するほか、騒音、悪臭、野焼き、空き地の雑草などに起因する苦情処理を継続します。
10	継続	快適な通行空間の確保のため、放置自転車の防止と駐輪マナー向上の啓発事業を継続します。
11	継続	本庄市生活排水処理施設整備構想の目標年度である令和7年度に向け、転換補助制度の維持を図ります。

NO	年度	新規・拡充内容
9		
10		
11		

経済環境分野

持続可能で活力に満ちた、
にぎわいと魅力のあるまち

施策大項目	7 廃棄物の処理とリサイクル							
めざす姿	<p>○廃棄物の処理体制の整備・充実が図られ、廃棄物の適正処理が行われています。 ○3Rを基調とした生活様式や事業活動への転換が図られ、再資源化に対する市民の意識が高まるとともに、廃棄物処理に係る環境負荷が低減された循環型地域社会が構築されています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量 [家庭から排出された廃棄物のうち、分別回収による資源ごみを除いた可燃・不燃・有害・粗大ごみ]	714 g/人・日	708 g/人・日	670 g/人・日				668 g/人・日
	1年間の事業系ごみ排出量 [事業所から排出された廃棄物量]	9,277t	9,191t	8,369t				8,521t

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

3持続可能で活力に満ちたに
ぎわいと魅力のあるまち

施策
大項目

7廃棄物の処理とリサイ
クル

NO	事務事業	実績
1	じん芥処理業務事務費	一般廃棄物処理計画に従い、一般廃棄物を生活環境保全上の支障が生ずることがないように適正に処理するとともに、市民の皆さまや事業者への啓発活動、各種補助事業等を通じて、一般廃棄物の減量化及び再生利用等を推進しました。
2	資源ごみ分別回収事業	廃棄物の減量化及び再資源化のため、自治会に資源ごみ分別回収量に応じた報償金を交付し、市民の環境意識の啓発・向上を推進しました。
3	集団資源回収事業	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進のため、古紙等を分別・回収しているPTA・子ども会・自治会等に報奨金を交付し、市民の皆さまの環境意識の啓発・向上を推進しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量	g	707.8	670.2	668.0	環境推進課
2	有	資源ごみの分別回収実施数	回	本庄地域:年12回 児玉地域:年24回	本庄地域:年12回 児玉地域:年24回	本庄地域:年12回 児玉地域:年24回	環境推進課
3	有	登録団体が集団資源回収を実施した回数	回	247	218	290	環境推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価 がそ ぐわ ない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	家庭系ごみ排出量削減のため、廃棄物の適正処理に関する周知啓発活動に注力し、より一層の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進を図ります。
2	継続	廃棄物の減量化及び再資源化の推進のため、自治会による資源ごみ分別回収に報償金を交付していきます。
3	継続	3R推進に向け、広報等を活用し、市民の皆さまの集団資源回収の利用促進や新規登録団体への呼びかけを行います。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

都市基盤分野

人にやさしい、
快適で美しく住みやすいまち

施策大項目	1 計画的なまちづくり							
めざす姿	<p>○基本構想で示す5つのゾーンの土地利用構想に基づき、それぞれの地域の特色を活かして秩序ある良好な土地利用が図られています。</p> <p>○本庄駅及び児玉駅周辺地区では、公民連携によるまちなかの魅力を高める都市機能が誘導され、居住環境の改善が進み、暮らしやすい街並みが形成されています。</p> <p>○本庄早稲田の杜地区では、豊かな自然と人の営みとが調和した風景や街並みが保全・形成されています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	居住誘導区域内に居住している人口の占める割合	26.9%	27.0%	26.9%				29.1%
	居住誘導区域内の住宅新增改築件数(年間)	128件	86件	81件				113件

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

4人にやさしい快適で美しく
住みやすいまち

施策
大項目

1計画的なまちづくり

NO	事務事業	実績
1	都市計画見直し事業	H25.3に策定した都市計画マスタープラン及びH30.3に策定した立地適正化計画を改定しました。
2	開発許可事務事業	平成13年度より埼玉県から権限移譲を受け、都市計画法に基づく開発許可事務を行っています。令和5年度は43件の許可件数がありました。
3	まちなか再生宅地開発補助	立地適正化計画における本庄駅及び児玉駅周辺の居住誘導区域内で、新たに3戸以上の分譲を目的として開発されるまとまった土地において、通り抜けできる道路や側溝等を整備し、それら公共施設を市へ引き渡すことを条件に、引き渡す面積に応じて最大2,000万円まで補助事業者に交付するものです。令和5年度における申請は0件でした。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無	法令に基づいて実施する事務のため					都市計画課
2	無	法令等に基づいて実施する事務のため					建築開発課
3	有	補助金交付事業者数	事業者	0	0	3	市街地整備室

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	改定した都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づいたまちづくりを推進していきます。
2	継続	法令等に基づき、引き続き事務を行います。
3	継続	民間活力によるまちの再生に向け、制度周知を一層進めるとともに、現在実施している本庄駅北口周辺における地籍調査による将来的な効果も見据えつつ、費用対効果を検証しながら継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

4人にやさしい快適で美しく
住みやすいまち

施策
大項目

1計画的なまちづくり

NO	事務事業	実績
4	まちづくり推進事業補助	立地適正化計画に定める本庄駅周辺及び児玉駅周辺それぞれの居住誘導区域において、地域への愛着や地域活力の向上等に資するまちづくり活動を行う3団体へ補助金を交付しました。各団体のまちづくり活動によって、既成市街地の活性化を図りました。
5	国土調査(地籍調査)事務	国土調査法に基づき、土地の基礎となる「地籍調査」を本庄駅北口周辺地区を実施し、土地の表示や権利の明確化を行いました。
6	本庄駅北口駅前街区等整備事業	「本庄駅北口周辺整備基本計画」に示す「駅前街区」を範囲とし、駅前広場の再整備をはじめ、隣接する民間用地等の活用による居住環境や公共機能導入等による賑わいの空間形成を目指しつつ、全世代が安心して過ごせる空間づくりに向けた検討を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	補助金交付団体数	団体	2	3	7	市街地整備室
5	無	指標となる項目がないため					道路管理課
6	無	指標の設定が困難であるため					市街地整備室

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	既成市街地のまちなか再生には民間活力が必要であるため、制度を周知し引き続き事業を実施します。
5	継続	本庄地区及び、児玉地区の両地区は地籍調査を行っているものの(83%の進捗率)、平成21年度から調査を休止していましたが、令和元年度に「地籍調査計画」を策定し、本庄駅北口地区(約40ha)を令和2年度から順次調査を行っています。
6	継続	今後も引き続き、合意形成に向けた必要な検討を継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6	R7拡充	「本庄駅北口周辺整備基本計画」に示す将来像の具現化に必要な検討を引き続き行っていきます。

NO	事務事業	実績
7	児玉駅周辺地区まちづくり 構想検討業務	郡酪跡地周辺の一団の公有地を拠点とした、児玉駅周辺のまちづくりを検討するにあたり、地区の概況、現状、課題等を整理した基礎資料を作成しました。
8	まちづくり計画策定事業	栗崎地区北部を対象とする地域整備計画や、それにとまなう地区計画等の策定に向け、関係地権者や地元まちづくり協議会等の関係機関と協議を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	無 指標の設定が困難であるため					市街地整備室
8	無 事務的経費のみで構成される事務のため					市街地整備室

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価 がそ ぐわ ない 。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	これまでの検討成果を踏まえ、上位施策に示す「拠点連携を基本とした集約型都市構造」の具現化に必要な検討を今後も継続します。
8	完了(終了)	栗崎地区北部地域整備計画の策定が完了しました。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		

都市基盤分野

人にやさしい、
快適で美しく住みやすいまち

施策大項目	2 居住環境の整備							
めざす姿	<p>○生活道路の歩道整備、バリアフリー化により、市民がより安全に移動できるようになっています。</p> <p>○建物の耐震化が進み災害に強いまちが形成されています。</p> <p>○空き家・空き地が適切に管理され、良好な居住環境が保たれています。</p> <p>○住宅セーフティネットに基づいた住宅供給が図られています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	道路後退部分及び隅切りの整備面積	33,535㎡	34,400㎡	35,365㎡				40,000㎡
	市道の歩道整備延長 [市道に歩道が整備されている総距離]	81,568m	81,568m	82,062m				84,030m
	管理不全な空き家・空き地に対する近隣住民からの相談に伴う指導件数	67件	49件	51件				70件

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

4人にやさしい快適で美しく
住みやすいまち

施策
大項目

2居住環境の整備

NO	事務事業	実績
1	道路後退用地建築物等の移転等補助金交付事務	狭あい道路等の整備を推進し、快適で住みよい都市をつくることを目的とし、道路後退用地に存する建築物等の移転又は除却にかかる費用を補助しました。
2	道路後退用地分筆補助金(寄附手続き含む)に関する事務	狭あい道路等の整備を推進し、快適で住みよい都市をつくることを目的とし、狭あい道路の中心より2メートルまでの道路後退部分の寄附に対して、その分筆に要する費用を補助しました。
3	空き家対策事業	空き家除却補助金の交付や固定資産税納税通知書に空き家の適正管理に関するリーフレットを同封しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	補助件数	件	0	0	2	道路管理課
2	有	補助件数	件	30	30	30	道路管理課
3	有	空き家・空き地に対する指導件数	件	49	51	70	都市計画課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	本庄市立地適正化計画のアクションプランに基づき、狭あい道路の解消に繋がるよう実施します。
2	継続	寄附件数については各年度30件以内で、極端な増減はないため、継続して事業を実施します。
3	継続	まちなか再生に向けた新規施策の研究を継続します。また、空き家・空き地の苦情対応や活用相談、相続等の課題解決などをワンストップで行えるよう、NPOや民間事業者への一括委託を検討します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3	R7拡充	令和2年度に実施した空き家等実態調査から5年経過することから、空き家等実態調査を実施します。

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

4人にやさしい快適で美しく
住みやすいまち

施策
大項目

2居住環境の整備

NO	事務事業	実績
4	耐震計画促進事業	昭和56年以前に着工された木造住宅の居住者に対して、耐震診断、耐震改修等の補助を行い、住宅の耐震化を促進しています。また、道路等に面する危険性のあるブロック塀等の除却補助を行い、危険なブロック塀等の除却を促進しています。令和5年度の補助実績は、木造住宅除却3件、ブロック塀等除却7件でした。
5	市営住宅管理運営の事務に関すること	市営住宅のうち、木造住宅は退去後に取り壊し、簡易耐火住宅・耐火住宅については長寿命化計画に基づき、計画的に維持管理を実施し、入居住宅の不具合については個別に修繕を実施しました。また、木造以外の退去住宅については修繕を実施し、新たな入居を促進しました。
6	屋外広告物許可事務事業	平成29年度より埼玉県から権限移譲を受け、埼玉県屋外広告物条例に基づく屋外広告物の許可事務を行っています。令和5年度は100件の許可件数がありました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	法令等に基づいて実施する事務のため					建築開発課
5	無	施設を維持管理する運営業務であるため					営繕住宅課
6	無	法令等に基づいて実施する事務のため					建築開発課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	国、県との連携のもと、建築物の耐震化の促進及びブロック塀等の安全対策を図っており、多数の自治体が耐震診断、耐震改修等及びブロック塀等除却の補助制度を設けています。今後も市民の活用に向けた情報発信をして建築物等の安全性の向上を目指します。
5	継続	事務の効率化を図るため、令和6年度より市営住宅の管理代行を委託し、引き続き良好に維持します。
6	継続	法令に基づいて申請された案件を適正に事務処理を実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

都市基盤分野

人にやさしい、
快適で美しく住みやすいまち

施策大項目	3 道路・河川の整備と維持管理							
めざす姿	<p>○幹線道路等の整備が進み、交通渋滞のないスムーズな移動が可能となっています。</p> <p>○川の改修整備や水路整備が進み、水害等に対し安心な生活ができるようになっています。</p> <p>○道路施設などの管理が電子化で一元管理され、維持管理水準の保持ができ快適な通行ができるようになっています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	都市計画道路整備率 [整備済道路÷計画道路]	65.00%	65.00%	65.85%				67.26%
	市道の道路改良延長 [舗装や拡幅等により整備した市道の 総距離]	470,367m	470,788m	471,441m				472,830m

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

4人にやさしい快適で美しく
住みやすいまち

施策
大項目

3道路・河川の整備と維持管理

NO	事務事業	実績
1	国道17号本庄道路築造 工事に伴う事務	国道17号本庄道路の整備進捗に伴い、関係事業者の調整を行いました。
2	道路改良事業	市民生活の基盤となる地域の幹線道路や生活道路を安全で快適に利用できるよう拡幅整備計画等を行いました。また、災害に強い地域づくりと市民が安全で安心して暮らせる住環境づくりを図りました。
3	道路維持管理事業	道路や水路が安全に利用でき良好な生活環境を保持するため、街路樹の選定や側溝の損傷などの補修及び清掃や除草などの管理を実施しました。また、道路照明灯の修繕やLED化を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無 指標となる項目がないため					道路管理課
2	有 道路改良工事の件数(1,300千円以上)	件	2	0	2	道路整備課
3	無 維持管理によるため					道路整備課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	国道17号本庄道路の完成に向け、引き続き国土交通省の支援を行います。
2	継続	事業を継続することで、市民の安全で快適な生活環境の改善が見込まれます。また、新規路線等を精査し、計画的に整備を実施します。
3	継続	近年増加する住民のニーズに対応するために、効率的な維持管理や経費の節減を目指しています。今度これまでの市民サービスの水準を保持していくには、検討が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

4人にやさしい快適で美しく
住みやすいまち

施策
大項目

3道路・河川の整備と維持管理

NO	事務事業	実績
4	橋梁修繕事業	橋梁の適正な維持管理に対応するため、災害や事故等に起因する修繕工事を実施しました。
5	旧公園画像データ化業務	旧公園は、和紙に墨で書かれており、大きさや形も地区ごとに様々で、作成から年月を経て劣化しているものもあるため、市が保有する旧公園を画像データ化するとともに、裏打ち補修及び検索用インデックスデータを作成し、劣化・汚損防止、保護を目的として行いました。
6	側溝改良事業	側溝の排水機能の確保や安全で円滑な通行ができるよう排水施設の改良等を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	修繕工事の実施件数	件	0	3	3	道路整備課
5	無	施設を維持管理するための運營業務のため					道路管理課
6	有	側溝改良工事の件数(1,300千円以上)		件	5	3	道路整備課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	事故等に起因する修繕を行いました。今後も災害や事故等に備え修繕が見込まれます。
5	継続	道路管理課保管の旧公園(約2,000枚)について、保存・劣化状態の悪い物と使用頻度が多い順に、データ化を引き続き実施します。
6	継続	水路整備や側溝改良などの工法等の検討や財源の確保が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

都市基盤分野

人にやさしい、
快適で美しく住みやすいまち

施策大項目	4 交通サービスの充実							
めざす姿	<p>○公共交通網の維持・確保と利便性の向上により、誰もが出歩きやすいまちになっています。</p> <p>○高齢者などの交通弱者も、公共交通により安心して移動できるようになっています。</p> <p>○公共交通網の維持・確保と利便性の向上により、自家用車から公共交通機関へと移動手段の転換が進むことで二酸化炭素の排出量が減少し、持続可能なゼロカーボンシティの実現に近づいています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	本庄駅及び本庄早稲田駅の利用者数(年間)	3,218,570 人	3,569,700 人	3,804,395 人				3,218,570 人
	路線バス・デマンドバス・シャトルバスの利用者数 〔市内を運行する全民間路線バス及びデマンドバス・シャトルバスの利用者数計(年間)〕	728,312人	726,799人	790,548人				773,000人

NO	事務事業	実績
1	鉄道確保維持改善事業	八高線及び高崎線の協議会へ負担金を支払い要望等を行いました。
2	民間路線バス維持対策事業	県北都市間路線バス維持対策及び生活バス路線運行事業として、民間路線バス維持のため助成を行いました。
3	市内公共交通運行事業	デマンド交通及びシャトル便の運行を行いました。
4	本庄駅南口駅前広場改築事業	本庄駅南口駅前広場改築予備設計業務委託を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	市内JR2駅の合計利用者数(年間)※無人化した児玉駅はデータなし	人	3,569,700	3,804,395	3,218,570	都市計画課
2	有	路線バス・デマンドバス・シャトルバスの合計利用者数(年間)	人	726,799	790,548	773,000	都市計画課
3	有	路線バス・デマンドバス・シャトルバスの合計利用者数(年間)	人	726,799	790,548	773,000	都市計画課
4	無	指標の設定が困難なため					都市計画課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	地域公共交通網の維持・確保と利便性向上を図っていきます。また、令和3年3月より無人駅となった児玉駅舎の活用について、JRと連携しながら引き続き検討します。
2	継続	今後も地域公共交通網の維持・確保を図っていきます。
3	継続	デマンド交通及びシャトル便について、令和7年度から新体制で運行開始する予定です。
4	継続	改築詳細設計業務委託及び測量業務委託を行います。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3	R7拡充	市内公共交通のデマンドバス及びシャトル便の運行方法を見直し、令和6年度末から新仕様での運行を開始します。新仕様に伴い、電話予約の受電率を高めると共にweb等による予約方法を導入します。
4	R7拡充	本庄駅南口駅前広場改築工事を行います。

都市基盤分野

人にやさしい、
快適で美しく住みやすいまち

施策大項目	5 水道水の安定供給							
めざす姿	<p>○良質で安全な水道水の供給により、市民が安心して水道水を使用しています。</p> <p>○効率的で健全な事業経営により、水道水が安定的に供給され、市民が安心して水道水を使用しています。</p> <p>○地震や浸水被害等の災害に強い施設の整備が図られ、災害時でも安定的な水道水の供給が継続されています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	有収率 [どれだけ漏水が少なく無駄がないかを表す比率(水道料金に換算された水量÷供給した配水量)]	88.5%	88.9%	88.1%				93.0%
	水道管の耐震化率 [耐震性能に優れた水道管がどれだけ布設されているかを表す比率]	15.0%	15.4%	15.9%				18.0%

NO	事務事業	実績
1	老朽管更新事業	漏水が多く発生している路線や耐用年数が超過した管路の更新を行いました。
2	浄・配水施設長寿命化事業	老朽化した施設を耐震化工事に合わせて長寿命化する工事の計画を行いました。
3	県水受水事業	受水量を6500m ³ /日で維持しました。
4	本庄市水道事業アセットマネジメント計画策定事業	アセットマネジメント計画を策定したことにより、水道施設の老朽化や今後の更新需要を把握し、効果的な施設の運営管理を実現することが可能となりました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	配水管布設替え延長	km	0.93	3.0	5.0	水道課
2	無	該当する指標がありません					水道課
3	有	1日あたりの県水の受水量	m ³ /日	6,500	6,500	6,500	水道課
4	無	該当する指標がありません					水道課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	耐用年数の超過管路が今後増加する見込みです。
2	継続	既存施設を長寿命化することで建設サイクルの平準化を促進し安定した水道事業経営を行います。
3	継続	水源を複数有することにより、災害等により水道施設に被害が生じた際に断水の影響を軽減することが見込まれます。
4	完了(終了)	完成したアセットマネジメント計画を基に財政収支計画を立案し、本庄市水道事業基本計画修正等の事業を推進していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4		

NO	事務事業	実績
5	本庄市水道事業基本計画修正事業	料金改定の根拠となるデータを作成し、審議会から答申を得ました。
6	漏水調査事業	リークゾーン調査や路面音聴調査等を実施し、給水管や配水管からの漏水箇所を特定しました。
7	水質検査事業	「安全・安心」な水道水を供給するため、原水や浄水の水質検査を定期的に行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	無	該当する指標がありません					水道課
6	有	漏水率(年間漏水量/年間配水量)×100	%	10.9	11.7	6.9	水道課
7	有	水質基準不適合率【(水質基準不適合回数/全検査回数)×100】	%	原水7.4% 浄水0%	原水3.7% 浄水0%	原水0% 浄水0%	水道課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	令和7年度の完成に向けて、計画的に事業を推進しています。
6	継続	漏水の早期発見は水道水の安定供給のために必要であり、今後も継続します。
7	継続	「安全・安心」な水道水を提供するために、必要不可欠な事業です。

NO	年度	新規・拡充内容
5		
6		
7		

都市基盤分野

人にやさしい、
快適で美しく住みやすいまち

施策大項目	6 下水道施設等の充実							
めざす姿	<p>○下水道等の整備が進み、快適な市民生活が送れるとともに、河川等の水質改善が図られています。</p> <p>○雨水幹線の整備等により市街地の浸水防除が図られています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	汚水処理人口普及率 [総人口に対する公共下水道整備人口、農業集落排水整備人口、浄化槽設置人口の合計の割合]	89.90%	89.40%	89.60%				94.79%
	公共下水道の水洗化人口 [整備区域内人口のうち公共下水道に接続している人口]	41,795人	42,538人	43,016人				48,580人

NO	事務事業	実績
1	管渠費	管渠の維持管理を行いました。
2	流域下水道維持管理負担金	流域下水道で処理した汚水量に基づく負担金を負担しました。
3	管路建設改良費	下水道管渠の建設を行いました。(受益者負担金収入関係の事務を含む)
4	融資あっせん預託金	水洗便所改造資金融資あっせん制度の広報等により、水洗化の普及啓発に努めました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無	施設を維持管理するための運營業務であるため					下水道課
2	無	施設を維持管理するための運營業務であるため					下水道課
3	有	①汚水整備面積(単年度)②普及率	①ha・ ②%	①17.5②61.4	①35.14②62.3	①0②65.4	下水道課
4	無	水洗便所改造資金融資あっせん制度の利用者の融資残高によるため					下水道課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	今後も効率的な管理に努めます。
2	継続	汚水幹線・汚水処理場の維持管理や更新について、今後も関係機関とともに推進していきます。
3	継続	市民が良好な居住環境の下で安全で快適な生活が送れるよう、公共下水道の整備を計画的に進めます。
4	継続	水洗化の普及啓発のため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		
4		

NO	事務事業	実績
5	生活排水処理施設設置補助事業	単独処理浄化槽や汲み取り槽から合併処理浄化槽への転換に対し補助金を交付しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
5	有	補助対象件数	基	21	9	30	環境推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
5	継続	本庄市生活排水処理施設整備構想の目標年度である令和7年度に向け、転換補助制度の維持を図ります。

NO	年度	新規・拡充内容
5		

都市基盤分野

人にやさしい、
快適で美しく住みやすいまち

施策大項目	7 都市公園の整備と緑の保全							
めざす姿	<p>○市民のニーズに応じた、安全で安心して利用できる都市公園が整備されています。</p> <p>○人と環境にやさしい貴重な自然や緑が保全されています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	市民参加型で整備等を実施した公園数 [ワークショップの開催など市民の意見を反映して整備等を実施した公園数(累計)]	16か所	16か所	16か所				20か所
	市街地に残る段丘斜面林を保全している割合 [段丘斜面林が存する面積のうち、市が保全を実施している面積の割合]	51%	58%	58%				53%

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

4人にやさしい快適で美しく
住みやすいまち

施策
大項目

7都市公園の整備と緑の
保全

NO	事務事業	実績
1	公園緑地維持管理事業	指定管理公園及び指定管理外公園の維持管理を行いました。
2	緑化推進事業	緑の募金を活用して緑化を推進するため、本庄総合公園春まつりにて、募金活動と合わせて苗木の配布を行いました。
3	本庄段丘斜面林管理事業	本庄段丘斜面林の維持保全するため、緑の管理協定に基づく民有地及び市有地の剪定・除草等を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	市民1人当たりの公園等面積	m ²	9.92	9.97	10.04	都市計画課
2	有	苗木・花苗配布数	株	0	215	250	都市計画課
3	有	市街地に残る段丘斜面林のうち保全している割合	%	58	58	58	都市計画課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	公園利用者が快適に利用できるよう、引き続き除草、樹木の剪定等の維持管理を行います。
2	継続	緑化を推進していくため、引き続き苗木等の配布を行います。
3	継続	本庄段丘斜面の保全のため、引き続き民有地及び市有地の剪定・除草等を行います。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

市民生活分野

市民だれもが活躍し、
安全に生活できるまち

施策大項目	1 市民との協働によるまちづくりの推進							
めざす姿	<p>○地域コミュニティの中心である自治会への加入率が上昇し自治会活動が活発化しています。</p> <p>○地域のニーズや課題に対して、年齢や性別、組織を問わず市民の活動が活発化しています。</p> <p>○市民の提案がまちづくりに生きています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	自治会の加入率 <small>[全世帯のうち自治会に加入している世帯の割合]</small>	82.31%	82.69%	81.15%				85.00%
	NPO法人登録数 <small>[県に登録された市内にあるNPO法人の数]</small>	43団体	44団体	47団体				50団体
	市民提案型事業数 <small>[市民活動団体等が企画・立案し、行政と協働で行う事業数]</small>	-	0件	3件				2件

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策 大綱	5市民だれもが活躍し安全に 生活できるまち	施策 大項目	1市民との協働によるま ちづくりの推進
----------	--------------------------	-----------	------------------------

NO	事務事業	実績
1	自治会連合会運営支援事業	市内85の自治会で構成する本庄市自治会連合会を助成することにより、自治会活動の活発化を推進しました。
2	自治会施設整備助成事業	地域社会におけるふれあいの場である自治会館等を整備、補修することにより快適な地域自治活動の推進に貢献するとともに、あらたな地域連帯意識の醸成を図ることができました。
3	コミュニティ活動支援事業	市民運動を実施している本庄市コミュニティ協議会を支援し、市内のコミュニティ活動を推進しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	自治会加入率	%	82.69	81.15	85.00	市民活動推進課
2	無	自治会施設を維持整備するための助成業務のため					市民活動推進課
3	無	本庄市コミュニティ協議会を支援するための助成業務のため					市民活動推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	少子高齢化や核家族化等の社会情勢の変化に伴い、自治会加入率の減少が見込まれます。また、自治会役員も高齢化しており、後継者やなり手不足も課題となっており、これらの解消について検討していく必要があります。
2	継続	施設の老朽化が進んでいるため、緊急性や必要性に応じ、適正な助成を行うとともに、土地や建物を自治会で所有できるように認可地縁団体化についても検討していく必要があります。
3	継続	地域コミュニティの活発化を図るため新規事業の立ち上げなど、事業内容の見直しを本庄市コミュニティ協議会へ依頼します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策 大綱	5市民だれもが活躍し安全に 生活できるまち	施策 大項目	1市民との協働によるま ちづくりの推進
----------	--------------------------	-----------	------------------------

NO	事務事業	実績
4	コミュニティ助成事業	一般財団法人自治総合センターの全国自治宝くじの受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動に必要な備品や集会施設等の整備に対し補助することにより、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進が図られました。
5	NPO法人認証等事務事業	NPO法人の設立認証、定款変更の認証、役員変更等届出書などの届出の受理、事業報告書等の受理、法人に対する監督等を行いました。また、NPO実務研修会や交流会等を開催し、市民との協働のまちづくりを推進しました。
6	市民提案型協働事業	営利を目的とせず、公益の増進に寄与する活動を行う団体から提案を受けて本庄市との協働により事業を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	自治会等のコミュニティ活動に必要な設備等の整備を行う助成業務のため					市民活動推進課
5	有	NPO法人数	法人	44	47	50	市民活動推進課
6	有	市民提案事業数	件	0	3	2	市民活動推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	自治会活動の活発化のため、今後も有効的に活用していきます。
5	継続	地域の課題や住民ニーズに対応するため、NPO法人等と連携し、市民との協働のまちづくりを推進します。
6	継続	開始から間もない事業のため、制度の周知に課題があります。今後も地域課題の解決や公益的サービスの更なる充実を図るため、事業の募集を行います。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

市民生活分野

市民だれもが活躍し、 安全に生活できるまち

施策大項目	2 人権を尊重する社会の実現							
めざす姿	<p>○人権尊重の精神が正しく身について、市民一人一人の人権が尊重されています。</p> <p>○人権問題についての悩みを持った市民が気軽に相談できる環境が整っています。</p> <p>○性別、国籍や障害の有無に関係なく、全ての市民の個性と能力が発揮されています。</p> <p>○DVなどに苦しむ市民の人権が尊重され、行政や関係機関の連携の下、相談や支援の体制が機能しています。</p> <p>○国籍、文化や言葉などの違いを認め合い、理解することで多文化共生の社会が実現しています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	人権研修会への参加者数(年間)	843人	991人	1,518人				1,900人
	審議会等における女性委員の割合 [法律・条例で設置されている附属機関の委員総数のうち的女性委員の占める割合]	23.3%	21.7%	25.3%				30.0%
	国際交流事業への参加者数 [本庄市国際交流協会で行っている事業に参加している年間延べ人数]	545人	1,037人	1,172人				2,000人

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

5市民だれもが活躍し安全に
生活できるまち

施策
大項目

2人権を尊重する社会の
実現

NO	事務事業	実績
1	人権教育推進事業	人権教育研修会等を開催し、人権意識の啓発を図りました。
2	人権相談事務費	熊谷人権擁護委員協議会への助成金と、同協議会本庄部会への負担金を支出し、人権擁護委員による人権相談を毎月2回実施するとともに、委員による人権思想の普及啓発活動等を行いました。
3	男女共同参画事業	女性と男性がともに家庭生活と社会生活を両立できる社会を目指し、男女共同参画意識の啓発等に努めました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	研修会への参加者数(人権教育研修会への参加者数:年間)	人	991	1,518	1,900	市民活動推進課
2	無	熊谷人権擁護委員協議会及び同協議会本庄部会への交付金が主であるため					市民活動推進課
3	有	研修会への参加者数(男女共同参画セミナーへの参加者数:年間)	人	44	88	150	市民活動推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	引き続き、人権教育研修会等を開催し、人権意識の啓発を図ります。
2	継続	人権擁護委員による人権相談、人権啓発活動等を行うため、引き続き、熊谷人権擁護委員協議会への助成金と同協議会本庄部会への負担金を支出します。
3	継続	引き続き、男女共同参画セミナー等の開催を行い、男女共同参画意識の啓発等を図ります。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

5市民だれもが活躍し安全に
生活できるまち

施策
大項目

2人権を尊重する社会の
実現

NO	事務事業	実績
4	DV被害者緊急一時保護事業	配偶者暴力相談支援センターとして、DV被害者の相談を実施しました。
5	市刊行物等多言語配信事業	無料アプリ「カタポケ」で多言語(現在10言語)に対応した広報ほんじょうや本庄市国際交流協会「ふれんど」などの配信を行いました。
6	国際化推進事業	本庄市国際交流協会に対して交付金を交付し、交流事業、研修事業、広報事業を行いました。また、外国人のための日本語教室(日曜教室)に対して交付金を交付し、活動に対する支援を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	DV被害者支援業務のため					市民活動推進課
5	無	指標の設定がそぐわないため					市民活動推進課
6	有	本庄市国際交流協会で行っている事業への参加者数	人	1,037	1,172	2,000	市民活動推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	DV被害者の相談を行うと共に、被害者とその同伴者の安全確保を図っていきます。
5	継続	市刊行物等を様々な言語に翻訳して配信することで、日本語が分からない外国人住民が必要な情報を得られ、生活しやすくなります。今後、配信する刊行物等を増やしていく必要があります。
6	継続	市内在住外国人は増加しており、多文化共生社会の実現に向けて、国際交流の推進は今後も必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

市民生活分野

市民だれもが活躍し、
安全に生活できるまち

施策大項目	3 危機管理体制の強化							
めざす姿	<p>○市民の防災意識が高揚し、日常的に災害に対する備えができています。 ○行政と市民が協力して危機管理体制を整え、万一の災害時には迅速な対応が取れるようになっています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	備蓄食料 <small>[災害発生時に備えて蓄えておく食料]</small>	48,340食	47,970食	46,140食				60,000食
	自主防災組織率 <small>[自主的に地域の防災活動を行う組織が各自治会に組織化されている割合]</small>	95%	95%	95%				100%

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

5市民だれもが活躍し安全に
生活できるまち

施策
大項目

3危機管理体制の強化

NO	事務事業	実績
1	防災訓練等実施事業	大規模災害(地震・風水害・土砂災害等)、を想定し、自助・共助・公助の理念のもと、防災関係機関及び住民等が協力して、指定避難所へ避難する実践的な訓練を実施し、市、防災関係機関の災害対応能力の向上及び連携強化、住民等の防災意識の高揚を図りました。
2	本庄市防災行政無線維持管理業務	本庄市防災行政無線の維持管理を行いました。
3	備蓄食料品等購入事業	災害用非常食、飲料水及び資機材を購入し、備蓄しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	防災訓練等開催回数	回	1	2	2	危機管理課
2	無	施設を維持管理するための運營業務であるから					危機管理課
3	有	備蓄食料数	食	47,970	46,140	60,000	危機管理課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	災害を想定して実施する訓練であり、毎年行っていきます。
2	継続	非常時の情報伝達手段であり、欠くことのできない事業であることから、今後も継続します。
3	継続	避難生活に必要な物資を確保できるよう、引き続き備蓄を進めます。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

5市民だれもが活躍し安全に
生活できるまち

施策
大項目

3危機管理体制の強化

NO	事務事業	実績
4	消防団運営に関する事業	消防団事務局として消防団運営を行いました。
5	消防団装備充実強化事業	消防団装備と呼ばれる制服、活動服、安全帽といった団員装備品の他、火災鎮圧器具、救急救助器具、避難誘導器具、夜間活動器具等の備品を配備しました。
6	消防団器具置場等管理事業	消防団器具置場等の維持・管理を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	消防団員数	人	316	315	340	危機管理課
5	有	消防団員数	人	316	315	340	危機管理課
6	無	施設を維持管理するための運營業務であるから					危機管理課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	地域防災力の充実・強化の要となる消防団の事務局事務であり継続します。また、消防団の事務局の在り方についても検討していきます。
5	継続	消防団の装備の基準に規定されている装備を調達・配備する必要がある、現状は十分ではないため継続します。
6	継続	消防団器具置場の維持管理であり、今後も継続して実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

NO	事務事業	実績
7	防火水槽設置・管理事業	防火水槽の設置、管理を行いました。
8	避難行動要支援者避難支援対策事業	災害時に自力での避難が困難な方に対して地域が連携して支援する体制を整備するため、対象者の名簿を作成すると共に、関係者への情報共有を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	無	施設を維持管理するための運營業務であるから					危機管理課
8	有	避難行動要支援者名簿登録者数	人	2,518	2,168	3,000	地域福祉課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	今後も耐震性貯水槽の新設、既存の防火水槽の修繕等を行っていく必要があります。
8	継続	令和5年度は、全名簿登録者を対象として文書による登録更新の意向確認を行った結果、名簿登録者数は減少しました。引き続き、本制度を必要とする方に支援が行き渡るよう、制度の適切な運営を図っていきます。また、高齢者や障害者など本制度の対象となる方の情報を適切かつ効率的に管理するため、システム化の検討を進めます。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		

市民生活分野

市民だれもが活躍し、
安全に生活できるまち

施策大項目	4 防犯体制の推進							
めざす姿	<p>○防犯パトロールなど、地域の自主的な防犯活動が進み、犯罪が発生しにくいまちとなっています。</p> <p>○防犯組織活動の活発化に伴い、住民相互のコミュニティが確立された住みよいまちとなっています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	刑法犯認知件数 <small>〔刑法に定められている窃盗などの 犯罪行為による被害者届件数(年間)〕</small>	475件	450件	687件				470件
	全自治会の防犯ボランティア組織率 <small>〔自主的に防犯活動に取り組む組織 が各自治会に組織化されている割合〕</small>	95%	95%	95%				100%

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

5市民だれもが活躍し安全に
生活できるまち

施策
大項目

4防犯対策の推進

NO	事務事業	実績
1	ジョギング・ウォーキング パトロール支援事業	ジョギングや、ウォーキング、散歩等に合わせた防犯活動に参加する個人を支援するため、防犯ボランティアグッズを登録者に配布しました。
2	防犯灯電気料金補助事業	防犯灯に係る電気料を自治会に対し助成し、夜間における歩行者の安全や犯罪の防止を図りました。
3	防犯灯設置補助事業	自治会が設置する防犯灯の費用を助成し、夜間における歩行者の安全や犯罪の防止を図りました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	市内の刑法犯認知件数	件	450	687	470	危機管理課
2	有	市内の刑法犯認知件数	件	450	687	470	市民活動推進課
3	有	市内の刑法犯認知件数	件	450	687	470	市民活動推進課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	制度の普及啓発に努め、自主的な防犯活動を促進します。安全・安心のまちづくり実現に向けて、引き続き事業を継続します。
2	継続	安全・安心のまちづくりの推進のため、今後も引き続き自治会に対し、防犯灯に係る電気料の支援を行っていくことから、電気料の増加が見込まれます。
3	継続	安全・安心のまちづくりの推進のため、今後も引き続き自治会に対し、防犯灯の設置の支援を行っていきます。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

市民生活分野

市民だれもが活躍し、
安全に生活できるまち

施策大項目	5 交通安全対策の推進							
めざす姿	<p>○交通安全施設が適切に設置され、市民が安心して生活できる交通環境が整備されています。</p> <p>○交通安全に対する意識が高まり、高齢者や障害のある人、子どもなどの交通弱者への配慮がなされています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	市内における交通人身事故発生件数(年間)	184件	228件	217件				180件
	上記のうち高齢者が関係した交通事故発生件数 [65歳以上の人が当事者となった件数(年間)]	36件	37件	45件				30件

NO	事務事業	実績
1	交通安全対策事務事業	交通事故防止のため、既存の歩行者用道路照明灯の維持・管理、交通安全運動を行う団体への活動費交付、及び市内小中学校における交通安全教室の開催等の事業を実施しました。
2	交通安全施設設置事業	交通事故防止のため、道路照明灯、道路反射鏡(カーブミラー)、区画線等の交通安全施設整備の新設、改修等を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	市内の人身交通事故発生件数	件	228	217	180	危機管理課
2	有	市内の人身交通事故発生件数	件	228	217	180	危機管理課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	交通安全維持のため、引き続き継続して取り組みます。
2	継続	市内の交通危険箇所について、危険の解消を引き続き実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		

市民生活分野

市民だれもが活躍し、
安全に生活できるまち

施策大項目	6 市民サービスの向上							
めざす姿	<p>○市民のライフスタイルに合わせ、時間や場所に制約されない市民サービスが提供されています。</p> <p>○市民サービスのデジタル化等の推進により効率化を図られ、市民が快適なサービスを受けることができます。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	証明書コンビニ交付サービスの交付数	3,602件	7,970件	14,017件				5,500件
	オンラインによる交付 手続利用件数	1件	3件	4件				520件

NO	事務事業	実績
1	市民相談事業	日常生活での様々なトラブルや悩みを抱える市民に対して、分野に応じた専門的立場の相談員による無料相談の場を提供し、市民の問題解決の支援を図りました。
2	市民窓口事務事業	住民基本台帳、戸籍及び印鑑登録に関する証明書の交付、臨時運行に関する許可証等の発行を行いました。
3	証明書コンビニ交付サービス事業	令和元年11月5日から全国のコンビニエンスストア等に設置してあるマルチコピー機を使ってマイナンバーカードを利用して住民票、印鑑証明、戸籍証明等の交付を行うサービスを実施しました。
4	マイナンバーカード交付事務事業	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(マイナンバー法)に基づき、マイナンバーカードの交付に関する事務を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	市民相談者数	人	393	385	400	市民課
2	無	法律に基づいて実施する事務のため					市民課
3	有	証明書コンビニ交付発行枚数	件	7,970	14,017	45,416	市民課
4	無	法令に基づいて実施する事務のため					市民課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	相談内容のうち、法律相談は特にニーズが高いことから、今後も継続をする必要があります。
2	継続	市民に寄り添った丁寧な申請書の記載指導や案内を行っていくことが、市民へのサービス向上につながります。
3	継続	証明書のコンビニ交付の件数は順調に増えており、今後も利便性向上を図りながら普及促進につなげていきます。
4	継続	国においてマイナンバーカードの普及促進がされており、今後カードの交付枚数等に応じて人員や事業費を見直す必要があります。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3	R7拡充	証明書コンビニ交付サービスにおいて、標準化対応による証明書を交付します。
4		

行財政経営分野

市民の信頼に応える 行財政経営を進めるまち

施策大項目	1 市政情報の提供の充実と市政に対する市民参加の推進							
めざす姿	<p>○全ての市民に開かれた行政となり、意見や意向を述べられる市民参加型の行政経営が行われています。</p> <p>○市政情報が公開され、計画策定や施策の実施に市民が積極的に参加しています。</p> <p>○公文書等の情報提供が一層充実し、市政の公正な執行と市民の信頼の確保が図られています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	市ホームページへのアクセス数	2,927,767 件	1,883,652 件	1,345,195 件				3,351,000 件
	市ホームページ更新件数	3,826件	4,229件	3,641件				4,545件
	市民の意見を聴く場の実施回数 <small>[対話集会・ワークショップ等]</small>	105回	148回	128回				110回

NO	事務事業	実績
1	広報発行事業	広報紙の発行により、定期的に市民への情報提供を実施しています。令和5年度は、発行ページ数、印刷単価が増加したことにより、前年度に比べ事業費が増加しました。
2	ホームページ運用業務	各種行政情報やイベント開催情報等、最新の情報を市ホームページで公開・周知しました。
3	市長への手紙事業	手紙やメールによる市政に対する意見等を197件頂き、それら意見等と市長からの回答を市ホームページや広報紙で紹介し、課題の共有と市政の周知を図りました。
4	情報公開・個人情報保護事業	情報公開制度を適正に運用するため、本庄市情報公開審議会を開催しました。また、情報公開制度について、職員研修を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)	単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無 事務的経費のみで構成される事務のため					広報課
2	有 ①ホームページアクセス数 ②ホームページ更新件数	件	①1,883,652 ②4,229	①1,345,195 ②3,641	①3,351,000 ②4,545	広報課
3	無 指標となる適正値が無いため					秘書課
4	無 内部管理事務のため					行政管理課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性		評価	有効性			評価
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。		意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。		
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	広報紙の発行により、市民へ定期的に情報を提供していきます。
2	継続	ホームページの適正運用により、最新の情報を市民へ提供していきます。
3	継続	市民からの意見や提案を随時に頂ける仕組みは、協働のまちづくりの形成には欠かせない施策のため、今後も継続します。
4	継続	情報公開及び個人情報保護制度を適正に運用するため、必要な業務を行います。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2	R7拡充	より魅力にあふれ、さらなる住民サービスの向上や公平な情報提供ができるよう、ホームページのリニューアルを実施します。
3		
4		

行財政経営分野

市民の信頼に応える 行財政経営を進めるまち

施策大項目	2 効率的・効果的な行政経営の推進							
めざす姿	<p>○住民に分かりやすい組織が構築されています。</p> <p>○全職員が性別にかかわらず能力を発揮し、いきいきと活躍する職場環境が整備され、市内事業所のモデルとなっています。</p> <p>○近隣の自治体や民間との相互連携により、効率的かつ効果的な行政経営が行われています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	職員提案制度件数 (年間)	5件	4件	7件				15件
	高ストレスと判定される職員の割合 <small>[厚生労働省の判定基準10%]</small>	11.0%	12.3%	10.9%				10.0%

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財政経営を進めるまち

施策
大項目

2効率的・効果的な行政経営の推進

NO	事務事業	実績
1	総合振興計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策推進事業	時代にあった事業にスクラップアンドビルドを促進しながら、計画に基づいた施策の推進を先導しました。
2	行政改革事務	行政改革大綱及び実施計画に基づき、年間評価及び総括を行うに当たり行政改革推進本部を開催し、行政改革審議会を経て成果の公表を行いました。
3	組織の見直し事務	事務事業の効率的な推進体制の整備を行うため、組織の見直しを行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	総合振興計画に掲げる成果指標の達成率	%	14	16	100	企画課
2	無	内部管理及び会議開催にかかる事務のため					企画課
3	無	内部管理事務のため					企画課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	目的を達成した事業の廃止や費用対効果の低い事業の見直しを行う必要があります。適切な事業評価方法を検討し、効率的・効果的な行政経営に努めます。
2	継続	更なる行政改革推進のため、継続して行っています。
3	継続	効果的・効率的な組織再編を継続して行っています。

NO	年度	新規・拡充内容
1	R7拡充	新たな総合振興計画及び総合戦略策定に向けた検討を開始します。
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財
政経営を進めるまち

施策
大項目

2効率的・効果的な行政
経営の推進

NO	事務事業	実績
4	職員人件費(一般会計分:議会給与費~保健体育給与費)	一般会計に属する一般職職員(三役含む)の給料、各種手当、共済組合負担金、退職手当負担金、公務災害補償負担金および再任用短時間職員の社会保険料を支出しました。
5	人事評価者研修事業	評価者間の目線の統一を図り公正に評価を行えるよう研修会を実施し、42名が参加しました。
6	職員全体研修事業	カスタマーハラスメントについての研修会を実施し、472名が参加しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	無	事務的経費のみで構成される事務のため					行政管理課
5	無	事務的経費のみで構成される事務のため					行政管理課
6	無	事務的経費のみで構成される事務のため					行政管理課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-	<input checked="" type="checkbox"/>
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	国及び他の地方公共団体の職員の給与、民間企業の給与などを考慮して適切な給与水準を維持しながら、適切な支出を今後も継続します。
5	継続	限られた人員で複雑化・高度化する行政ニーズに幅広く柔軟に対応するため、職員の能力向上を図る研修事業は継続が必要です。
6	継続	限られた人員で複雑化・高度化する行政ニーズに幅広く柔軟に対応するため、職員の能力向上を図る研修事業は継続が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財政経営を進めるまち

施策
大項目

2効率的・効果的な行政経営の推進

NO	事務事業	実績
7	管理者組織管理研修事業	管理者としてのマネジメント能力向上のため研修会を実施し、7名が参加しました。
8	階層別・専門研修派遣事業	児玉郡市広域市町村圏組合、彩の国さいたま人づくり広域連合、市町村アカデミー及び埼玉県総合技術センターが実施する研修会に職員を派遣し、計209名が参加しました。
9	定住自立圏構想の推進事業	本庄市を中心市とする1市3町で連携して定住圏構想を推進しています。医療、福祉、産業振興、地域公共交通、交通インフラ、地産地消、人材育成の分野の取組の進行管理を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	無	事務的経費のみで構成される事務のため					行政管理課
8	無	事務的経費のみで構成される事務のため					行政管理課
9	有	圏域内人口(1月1日時点)	人	132,156	131,541	127,649人以上	企画課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	限られた人員で複雑化・高度化する行政ニーズに幅広く柔軟に対応するため、職員の能力向上を図る研修事業は継続が必要です。
8	継続	限られた人員で複雑化・高度化する行政ニーズに幅広く柔軟に対応するため、職員の能力向上を図る研修事業は継続が必要です。
9	継続	共生ビジョンに基づき、圏域全体のさらなる活性化を図ります。また、懇談会等で出された課題に対してWGでの検討を促すなどPDCAサイクルの徹底に努めます。また、令和6年度には実行性の高い計画となるよう、ビジョンの見直しを行います。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		
9		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財政経営を進めるまち

施策
大項目

2効率的・効果的な行政経営の推進

NO	事務事業	実績
10	職員メンタルヘルス事業	令和5年8月29日～9月8日に実施し、717名が受検しました。高ストレス判定割合は10.9%でした。
11	職員昇任選考事業	職員の勤労意欲を良好に維持し、組織の活性化を図るため、主査・係長級職及び課長補佐職への昇任試験を9月に実施し、主査・係長級職へ14名、課長補佐職へ9名を選考しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
10	有	高ストレスと判定される職員の割合(総合振興計画のR9目標値10%)	%	12.3	10.9	10.0	行政管理課
11	無	事務的経費のみで構成される事務のため					行政管理課

<評価(CHECK)>

No	妥当性					効率性			有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。	評価	事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	評価	意図する効果が得られている。	他事業との重複がない。	評価	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
10	継続	労働安全衛生法で事業者へ実施が義務付けられている事業のため、今後も継続します。
11	継続	職員の勤労意欲を良好に維持し、組織の活性化を図るとともに、人事管理を公平かつ客観的に行うために今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
10		
11		

行財政経営分野

市民の信頼に応える 行財政経営を進めるまち

施策大項目	3 早稲田大学との基本協定に基づく施策の推進							
めざす姿	<p>○早稲田大学とのまちづくりに関する連携事業によって、活力と魅力あるまちづくりが進められています。</p> <p>○早稲田大学との人材育成に関する連携事業によって、次代を担う人材が育成されています。</p> <p>○早稲田大学との連携により、「知的資源に恵まれた都市」というブランドイメージが構築され、移住・定住者が増加しています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	市内小学生が早稲田大学との人材育成連携事業に参加した割合(年間)	19.6%	15.5%	10.0%				40.0%
	早稲田大学との協働事業数	33事業	40事業	41事業				60事業

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財政経営を進めるまち

施策
大項目

3早稲田大学との基本協定に基づく施策の推進

NO	事務事業	実績
1	早稲田大学包括協定推進事業	早稲田大学との協働連携に関する基本協定のもと、まちづくり(懇談会の委員)、人材育成(職員の研修、本庄高等学院との連携授業への職員派遣)、文化の育成・発展(文化財共同企画展)に取り組みました。
2	市民総合大学推進事業	本庄市の将来像「あなたが活かす、みんなで育む、歴史と教育のまち 本庄～世のため、後のため～」を実現していく人材の育成と市民一人一人が自己を高め、人格を磨き、幸せで豊かな人生を送ることを目的に開催しました。
3	子ども大学ほんじょう実行委員会負担金	早稲田大学の協力を得て、児玉郡市町の共同により開校し、こどもたちの郷土愛や探究心を育む場を設けました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	早稲田大学との協働事業数	事業	40	41	60	企画課
2	有	延べ受講者数	人	4,333	4,163	8,200	生涯学習課
3	有	子ども大学ほんじょう申込者数(本庄市からの申込者)	人	22	13	35	生涯学習課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	大学が実施するフィールドワークへの協力や研究活動の支援を行うとともに、大学の知的資源、人的資源を活用する取組を推進していきます。
2	継続	原則として対象年齢を設けず多様な講座を開催し、質の高い学びの機会を提供することで、市民一人一人の自己実現と次代を担う人材育成を推進します。
3	継続	早稲田大学や地元企業と連携し、こどもたちが学校で経験することのできない学びの機会を提供することで、将来、地域を牽引する人材の育成に貢献することが期待できるため、今後も継続します。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財
政経営を進めるまち

施策
大項目

3早稲田大学との基本協
定に基づく施策の推進

NO	事務事業	実績
4	本庄早稲田の杜ミュージアム管理運営事業	恵まれた自然環境を有する大久保山や宍勝寺裏埴輪窯跡等の貴重な遺跡に囲まれた一帯を「本庄早稲田文化の杜」とし、その中核となるミュージアムは、展示による地域の魅力発信のみならず、体感的な教育普及活動等を展開することで、地域文化の拠点となる事業を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	入館者数	人	15,141	18,695	17,400	文化財保護課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	本庄早稲田文化の杜の中核施設として、運営の継続が必要です。

NO	年度	新規・拡充内容
4		

行財政経営分野

市民の信頼に応える 行財政経営を進めるまち

施策大項目	4 行政のデジタル化の推進							
めざす姿	<p>○ICTを活用した行政サービスが充実しています。 ○情報の保護や保全のためのセキュリティ対策がより強化されています。 ○デジタル技術の利用が市民に身近なものになっています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	オンラインによる各種 手続数	43手続	90手続	107手続				100手続
	マイナンバーカードの 交付率	36.1%	61.1%	69.7%				100.0%

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財
政経営を進めるまち

施策
大項目

4行政のデジタル化の推
進

NO	事務事業	実績
1	電子申請サービス提供業務	電子申請システムの管理を行いました。
2	統合型内部情報システム事業	市役所内での情報共有のためのグループウェアシステムと財務会計(予算編成)に続き、令和2年度より人事給与、人事評価、庶務事務、文書管理、電子決裁、財務会計(予算執行)が稼働しました。
3	情報セキュリティ研修及び内部監査	情報セキュリティやマイナンバーに関する研修用問題に回答するテスト形式の情報セキュリティ研修を実施し、基準点に満たない職員及び未受講の職員は翌年度のセキュリティ講習受講を義務付けました。なお、内部監査につきましては情報システム課職員を監査員として実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	有	電子申請システム利用手続数	手続	90	107	100	情報システム課
2	無	事務的経費のみで構成される事務のため					情報システム課
3	有	内部監査対象課数	課	5	5	5	情報システム課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	令和2年12月25日、国は「自治体DX推進計画」を策定し自治体が重点的に取り組むべき事項のひとつとして、行政手続きのオンライン化を挙げています。市としても行政手続等の利便性の向上や行政運営の簡素化、効率化を図るため電子申請による手続件数を増やしていきます。
2	継続	より効果的、効率的に内部事務を進めるため、各事務系システムの統合を図ります。
3	継続	情報セキュリティ事故が発生しないよう今後も研修等を実施していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
1		
2		
3		

行財政経営分野

市民の信頼に応える 行財政経営を進めるまち

施策大項目	5 自主性・自立性の高い財政運営の確立							
めざす姿	<p>○多様な手段による自主財源の確保と適切な予算執行により、健全な財政運営が行われています。</p> <p>○各種サービスにおける受益者負担の見直しが行われ、負担の適正化が図られています。</p> <p>○公共施設等について総量の削減や長寿命化を推進し、維持管理・運営の効率化等に計画的に取り組むことで財政負担を縮減し、安全で持続可能な施設整備が行われています。</p>							
成果指標	成果指標名	策定時 (R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標値 (R9)
	経常収支比率 <small>[財政運営の弾力性を示す指標(比率が高いほど、財政運営の硬直化が進んでいることを表す)]</small>	89.3%	94.7%	94.7%				92.7%以内
	実質公債費比率 <small>[公債費のうち交付税により措置されるものを除いた正味の公債費の占める割合]</small>	3.7%	3.7%	3.7%				3.7%以内
	将来負担比率 <small>[標準的な収入に対して、一般会計等が抱える実質的な負債の占める割合]</small>	0%	-	-				0%
	20代・30代の転入超過人口 <small>[転入人口-転出人口]</small>	108人	2人	-111人				0人 (移動均衡)

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財
政経営を進めるまち

施策
大項目

5自主性・自立性の高い
財政運営の確立

NO	事務事業	実績
1	諸税賦課事業	税申告情報を補完、確認するために、軽自動車検査情報提供サービスを利用し、法令に基づいた適正な課税事務を実施しました。また、たばこ税等に係る電子申告手続の拡充を図りました。
2	市民税賦課事業	地方税電子申告支援システムを活用し、電子申告、電子申請等に対応するなど、適正な課税事務を実施しました。また、特別徴収通知の電子化、森林環境税創設に対応するため、システム改修を実施しました。
3	固定資産税賦課事業	各種システムの活用や課税資料の整備を図り、適切な課税客体の把握及び公平公正な課税に努めました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
1	無	事務的経費のみで構成される事務のため					課税課
2	無	事務的経費のみで構成される事務のため					課税課
3	無	事務的経費のみで構成される事務のため					課税課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
1	継続	法令に基づいた適正な課税事務につなげるため、取組を継続していきます。また、市民の利便性の向上及びデジタル化の推進に取り組みます。
2	継続	電子申告の拡大等に的確に対応し、市民の利便性を高めるとともに、適正な課税事務に努めていきます。
3	継続	事務処理方法の確認及び各種システムの活用等により、業務の効率化を図るとともに、適正な課税事務に努めていきます。

NO	年度	新規・拡充内容
1	R7拡充	eLTAXの拡充に伴う電子化に対応するため、システム改修等を行います。
2	R7拡充	個人住民税申告の電子化に対応するため、システム改修等を行います。
3		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財
政経営を進めるまち

施策
大項目

5自主性・自立性の高い
財政運営の確立

NO	事務事業	実績
4	収納率向上対策事業	市税の収納確保のため、未納者に対する督促や催告及び納税相談を実施するほか、滞納者の実情に即した滞納整理業務、納付書や口座振替・郵便振替等による納入管理を行いました。
5	公共料金検討委員会	公共料金の見直しに伴い委員会を開催し、手数料条例の改正を行いました。
6	中期財政収支の見通しの作成	持続可能な財政運営のための課題を把握し、財政の健全性を確保するため、中期的な視点により、財政収支の見通しを作成しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
4	有	収納率(現年度分、滞納繰越分)	%	現年度分 99.3 滞納繰越分 41.9	現年度分 99.4 滞納繰越分 37.7	現年度分 99.4 滞納繰越分 41.9	収納課
5	無	内務管理事務のため					企画課
6	有	①経常収支比率②実質公債比率③将来負担比率	%	①94.7②3.7③-	①94.7②未③未	①92.7②3.7③-	財政課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
4	継続	市税の収納確保や滞納者の実情に応じた滞納整理を行っており、今後も継続して実施していきます。
5	継続	受益者負担の適正化を図るため、継続して行っています。
6	継続	社会経済状況や運営状況による財政収支の変動を的確に捉えるため、ローリング方式により毎年見直しを図ります。

NO	年度	新規・拡充内容
4		
5		
6		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財政経営を進めるまち

施策
大項目

5自主性・自立性の高い
財政運営の確立

NO	事務事業	実績
7	基金の適正な管理	持続可能で安定的な財政運営を行うため、計画的な活用及び積立を行っています。財政調整基金を維持確保するとともに、減債基金や施設整備等基金等に計画的に積み立て、活用しました。
8	計画的な市債の発行	資産と負債のバランスを考慮し、普通建設事業に係る市債は、普通建設事業に係る元金償還額以内の発行に努めました。
9	公共施設等マネジメント推進事業	本市の公共施設等の維持管理及び総量管理を長期的かつ計画的に推進するため、公共施設再配置計画等の改正を令和4年度から令和6年度の3か年で実施します。令和5年度は、令和6年度に開催する公共施設等の見直し方針に係る地域説明会に向けた資料の検討及び公共施設等マネジメント推進審議会の開催等を実施しました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
7	有	①経常収支比率②実質公債比率③将来負担比率	%	①94.7②3.7③-	①94.7②未③未	①92.7②3.7③-	財政課
8	有	①経常収支比率②実質公債比率③将来負担比率	%	①94.7②3.7③-	①94.7②未③未	①92.7②3.7③-	財政課
9	無	内部管理事務のため					企画課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性			評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
9	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
7	継続	今後、段階的に実施される公共施設の大規模改修の財源のため、施設整備等基金の確保、有効活用に努めます。
8	継続	普通建設事業に係る市債については、これまで有効活用してきた旧合併特例債が令和7年度で発行期限を迎えることから、有利な地方債の活用について、検討をしていきます。
9	継続	令和6年度末までに公共施設等総合管理計画を策定します。令和7年度以降は公共施設の包括管理を検討していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
7		
8		
9		

本庄市総合振興計画行政評価(令和5年度実績)
実施計画(令和7年度)

政策
大綱

6市民の信頼に応える行財
政経営を進めるまち

施策
大項目

5自主性・自立性の高い
財政運営の確立

NO	事務事業	実績
10	総合振興計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策推進事業	時代にあった事業にスクラップアンドビルドを促進しながら、計画に基づいた施策の推進を先導しました。
11	補助金等交付の適正化事業	政策を実現するために交付する補助金等が効率的、効果的な手法として適正であるかを委員会で判定を行いました。
12	シティプロモーション事業	シティプロモーション事業及び七高祭において、意識醸成や関係人口に繋げる取組を行いました。

<実施(DO)>

NO	指標(無の場合:理由)		単位	R4実績	R5実績	R9目標	担当課
10	有	総合振興計画に掲げる成果指標の達成率	%	14	16	100	企画課
11	有	是正を要する補助金事業	件	0	0	0	企画課
12	無	長期的な視野で関係人口の拡大を図ることを目的とする事業であることから、指標の設定が難しいため					広報課

<評価(CHECK)>

No	妥当性				評価	効率性			評価	有効性		評価	評価がそぐわない。
	上位施策の目標を達成するために必要な事業である。	評価対象事務事業の「対象」の設定が妥当である。	現行の事業意図が現状に合致している。	目的達成のために妥当な手段である。		事業費(直接事業費、人件費、間接費など)が適切である。	行政直営、委託等、考えられる方法の中で効率的な手法となっている。	意図する効果が得られている。		他事業との重複がない。			
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	
12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	<input type="checkbox"/>	

<今後の方向性(ACTION)>

No	方向性	理由・改善点等
10	継続	目的を達成した事業の廃止や費用対効果の低い事業の見直しを行う必要があります。適切な事業評価方法を検討し、効率的・効果的な行政経営に努めます。
11	継続	委員会において、適正な補助金・交付金事務を推進します。また、資料や手続の簡略化など、庁内全体の事務の効率化を進めていきます。
12	継続	本市は20代の若年世代が転出超過となっているため、本市の目指す姿を共有し連携を図りシティプロモーション計画の策定を行いプロモーション効果を高めていくほか、SNS等を活用した魅力発信を継続して展開していきます。また、本市へ通学する高校生も多いことから、関係人口となるような事業を実施し、将来の持続可能なまちづくりのための取組を展開していきます。

NO	年度	新規・拡充内容
10	R7拡充	新たな総合振興計画及び総合戦略策定に向けた検討を開始します。
11		
12	R7拡充	講座を通じて、まちのファンと担い手を発掘・育成し、関係人口の増加を図ります。本庄市ブランドメッセージをバックパネルその他啓発グッズの活用により周知し、認知度の向上及び本市への愛着度の醸成に努めます。

※計画に掲載している事業は、今後の財政状況や事業の進捗状況等を踏まえ、予算規模との整合性を図りながら実施するものであり、予算が担保されるものではありません。

本庄市総合振興計画
行政評価(令和5年度)
実施計画(令和7年度)
(令和7年3月発行)

発行：本庄市
編集：企画財政部企画課